京城日報

十一月十七日夕刊（朝夕併せて八頁）

定價 一ヶ月七拾五錢 … 廣告料金 …
發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川ヨ之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

總督式辭

別項十五日擧行されたる第二回慶北物產共進會褒賞授與式に於て山縣政務總監の代讀せる長谷川總督の式辭左の如し

茲に本日をトして第二回慶尙北道物產共進會褒賞授與式を擧ぐ本共進會は前回に比し規模大にして施設整頓し出品點數亦倍加せり就中醸造品は廣く之を全道に求め對比審評に附し觀覽者日に麕集する盛況に在り蓋し本道產業の將來に裨益する所尠少ならざるべきを信ず是れ洵に當該官廳の施措其宜を得たると民官有志の熱心なる協贊とに因るものにして深く其の勞を多とす顧て本會出品審査の成績を見るに第一回以來五星霜の間に於ける壯面目を一新し改良進步の跡顯著なるものあるは上下一致諸精勵の結果にして洵に欣快とする所なり今や世界戰局の前途漸く定まらむとするの時に方り各國競ふて戰後の對策に努め將に大經濟戰に移らむとす各位は克く斯の大勢に鑑み本會の實蹟に稽へ益研鑽を加へて產業の振興に力を致し以て國家に貢獻せむことを望む

◇英艦隊ペ市占領

英國艦隊はテバ河を遡りペトログラードを占領せり（倫敦電報）

◇軍國主義崩壞 伯林勞兵會布告

アムステルダム來電＝伯林勞兵會は正式に發したる布告に於て『獨逸は今や社會黨の手に依つて共和國と成れり過去四箇年間人民は嘘僞に惑はれたるも今や暴慢なる軍國主義は既に崩壞せり尙ほ革命終局の目的は總ての生產の手段を社會主義化するにあり而して這は何等暴力を用ひずして實現せらるべしと考慮す』と（東京特電）

◇アロ兩州問題 ＝三行政に區ちて＝

巴里來電＝十一月十四日の閣議に於てアルサス、ローレンス問題を討議したるが其結果同地方の行政を改正し新占領地の行政に倣ふことに決せり即ち該地方を上アルサス、下アルサス及びローレンの三行政區に分ち現知事の職務を維持すべく代官各一名をストラスブルグ、メッツ及びコルマールに置きストラスブルグの代官は最上級代官たるべし（東京特電）

◇獨逸守備隊叛逆 ブ市支配權を獲得

ブラッセルに於ける獨逸守備隊は叛逆を起し同市の支配權を獲得せり（アムステルダム電報）

◇人民政府キール設立

シュレス、ウイヒホルスタインの臨時人民政府はキールに設立されたり（倫敦電報）

◇戰爭繼續者處罰

獨逸社會黨は前獨逸宰相フォン、チルピッツ及び其他戰爭繼續に責任ある人物を罰すべく要求せり（倫敦電報）

◇獨大臣人民代官

巴里來電＝伯林よりの電報に依れば獨逸國及び普魯西の諸大臣は今後人民代官と稱せらるべし（東京特電）

◇獨軍メッツ撤退

獨軍は十七日メッツを撤退すべく豫期せらる（倫敦電報）

◇白帝首都に入らん

白耳義皇帝アルベルト陛下は十五日ブラッセル（白國首府）に入る可しと豫期さる（巴里電報）

◇過激伯林大使引揚

過激派政府伯林駐在大使ヨッフエの引揚は獨逸官憲監視の下に行はれ大使館の行李は抑留され數名の館員は拘禁され警官は一行を國境迄護送せり（莫斯科電報）

◇軍團問題延期 明年度豫算に計上せず

明年度豫算編成上の難關と目せられたる陸軍の師團編築は戰局の推移及び大勢の趨向に鑑み明年度豫算に計上せざることに決定せり（東京特電）

◇豫算閣議期日 二十五日頃か

明年度豫算は目下大藏省に於て査定中なるが各省豫算額の中物價騰貴に伴なふ要求額一億圓に上り是が査定は早くも二十日過にあらざれば終了せざるべく從つて豫算閣議は二十五日頃となるべし（東京特電）

◇陸軍側隨員 任適

講和正副使陸軍側隨員として福田參謀次長に決定したるに對し某氏は曰く『福田中將は從來專ら此方面に關する研究を爲しつゝあり同中將にして隨員たらんには必ず任務を全うし得ることゝ信ず』と（東京特電）

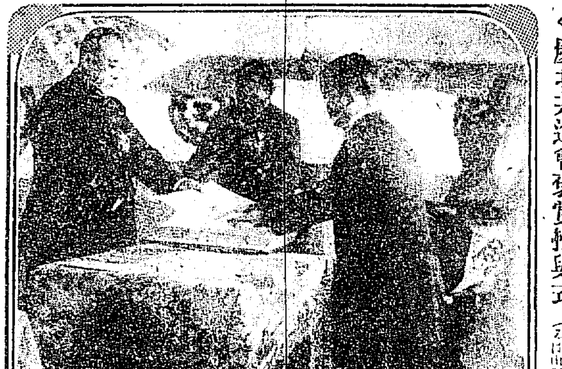
◎講和會議地と其順序

聯合國は巴里ヴェルサイユ會議を續行して既に講和準備の協議に入れる摸樣あり而して休戰期限即ち十二月十日迄に獨逸側の休戰條約履行未完了又は聯合國側の講和基礎條約未確定の場合は更に休戰期間の延長を爲すことも有り得べしと信ぜらるゝが

▲聯合國政府 は明日以前に是非とも講和談判を開始せんと熱心なるが如し正式講和會議の開設地點に關しては目下瑞西、巴里、白耳義の三說ありて未だ的確に一致したるものなきも大體に於いて巴里說有力と見るべき理由あり正式講和會議に對して概括して

▲二段の觀測 を要し其の第一段は戰爭終結に關する條件の決定第二段は世界恒久の平和强制會議とす即ち前者は史上一般慣例の範圍に於て極めらるべき平和條件なるが故に主として外交官の折衝に從ふ者なるが後者は世界大戰の結果として招來さるべき恒久永遠の平和を國際的に强制する重大會議なれば國際聯盟、海洋自由擴、通商問題、軍備制限等思想上の

▲基礎的解決 を主眼とし少くとも此任に當るべき者は世界の大勢を能察し得べき政治家の資格あるを要する爲め帝國政府も亦黨派的感情を排除し野心家の思惑等に顧慮せず之を斷ずべきものにて事實未だ其候補者も決定し居らず尙講和會議の形式を前二段の外更に平和强制の施行方法を强要すべき第三段の手續を附加せる說あるが這は平和强制の徹底的遂行を創設するものにして即ち國家及國際關係の根本的變革乃至國家共存の準備上前二段と共に重要なる手續と爲すべく講和の最後的決定迄は恐らく多大の年月を閲すべきものならんと思はる尙確聞する所に依れば戰爭終結に關する一般條件を基礎とする講和會議はウイルソン大統領の十四箇條基礎條件及び平和原則を討議す可き平和會議は明確に區別せられ講和會議は主として領土及び植民地處分問題償金賠償問題等の解決に止むべしと云へり



◇慶北共進會褒賞授與式（褒賞を授與しつゝある山縣政務總監）

◎總監慶州行

山縣政務總監は十六日午後四時自動車にて大邱出發西岳の武烈王陵に到着東田貞氏より武烈王に就ての說明を聞き夫より慶州に赴き同地の古蹟保存會陳列場に少憩の上柴田旅館に投宿せるが十七日朝自動車にて佛國寺に向ひ觀察の上同日午後大邱に歸着せり（大邱）

◎慶北共進會 褒賞授與式

慶北共進會褒賞授與式は十五日午前十時共進會場に於て擧行さる當日は長谷川總督代理山縣政務總監臨場各道長官並に一二部長其の他多數參列左の順序により式を擧げ式後一同大邱協贊會の設宴に臨み萬歲を三唱して散會したり因に山縣政務總監の代讀せる總督式辭並に鈴木共進會長の祝辭別項の如し（大邱支局）

▲擧式順序 出品人著席、來賓參列、總督臨場（會長先導）、奏樂（君が代二回）、審査長審査報告、褒賞授與、朝鮮總督式辭、會長祝辭、協贊會長祝辭、來賓祝辭、出品人總代答辭、奏樂、總督退場（會長先導）並に來賓各館巡觀

▲鈴木會長祝辭 第二回慶尙北道物產共進會褒賞授與式を擧げ朝鮮總督閣下の臨場を辱うし本日茲に褒賞授與式を擧げせらる本會の光榮何ものか之に如かむ今審査の成績を觀察し之を第一回共進會當時に對比すれば[illegible]界列强角逐するは前途甚だ遼遠なり冀くは當業者諸士此の日新の大勢に鑑み採長補短以て產業の改良と擴張とに努め國富の增進に貢獻するあらむことを望む一言以て祝辭とす

◎北鮮移出品內地消費狀況

日本內地に於ける北鮮地方移出品の消費狀況大略左の如し

▲大豆粕 用途は主として肥料に供せられ愛知縣の如きは各地に亘りて之を使用しつゝあり而して右は雄基港並に間島地方より淸津港を經て敦賀航路にて敦賀に揚陸せられ名古屋に出づるものにして其數量は僅少なるも其消費が愛知縣を中心として各縣に普及せられつゝあるより觀れば將來之れが需要は增加の一方なるべし此の外大連港より移出するものあるも運賃其他の關係上價格に於て値差を生じ爲めに運搬並に間島物產を歡迎しつゝあり同地方に於て特產品たる大豆を利用し豆油製造を企發し豆油は勿論豆粕移出に從事せんか大いに有望なりと信ず

▲大豆 內地に於ける需要は年々增加の一方なるに拘らず之が栽培面積は却つて反比例に減少しつゝあり醬油味噌豆腐の原料以外豆油製造勃興の爲め益需要激增し滿洲大豆並に朝鮮大豆を以て補充しつゝあり風說によれば朝鮮大豆は滿洲品に比し油分少しと聞けるが其は南鮮大豆を指せるものにして北鮮並に間島地方產出のものは之が試驗の結果滿洲大豆に優るとも劣らざる油分を含有し居るを發見せり是れ實に同地方並に以北に於ける大豆の有望を語るものなり殊に豆滿江沿岸に於ける各郡の大豆は豆油原料として最適當品たるを信じて疑はず今や內地に於ては豆油製造業殷盛を極め名古屋の如きは市中に六箇所、北陸地方に一大豆油工場の如きは六箇所の製造場を有し彼の鈴木商店の如きは北陸地方に一大豆油工場を設置せん計畫を立て着々進捗しつゝあり此の外數箇所に[illegible]あり其有望なること世人に認めらるゝに至れり

▲米糠 未だ多量に移出せらるゝものなきも肥料として名古屋地方に於る需要大なるものあり

▲鯡粕 北陸地方並に愛知縣地方に於ては現在北海道產出品を使用しつゝあり同地方よりの移出品は其數量僅少なれば之また大いに販路の余地あり

▲[illegible] 外國輸出品として販賣地方商人の歡迎する所なるのみならず內地各地に於ても北海道產に優るものありとし歡迎せられつゝあれば今後一層獎勵の價値あるは多言を要せず

◎朝鮮海事會 設計

遞信局にては海員の救濟保護を主とし造船職工の養成等をなす朝鮮海事會を組織せんとするの意あり

◎西伯利亞觀察 後貝加爾州の援助＝物資缺乏 大田鮮銀理事歸來談

客月末西伯利亞に出張中なりし大田鮮銀理事の歸來談に曰く

▲交通機關混亂 長春以北の東淸線も後貝加爾鐵道も列車の運轉は滅茶々々であつて交通機關の不秩序はお話にならぬ、予は客月下旬長春より混雜の裡に漸くハルビン著、二十九日ハルビンに避まれる吾軍の交通部長武內中將搭乘の特別列車に便乘しハルビンより滿洲里を經てチタまで赴き往復一千八百露里を揺られて今月の七日にハルビンに歸つたが、中將の特別列車にして尙ほ非常の不便と困難を感じたのであるから他は推して知るべし、ハルビンに歸來後浦鹽に赴き更にハバロフスク、スパノフ方面に廻り內地に出で、歸鮮の豫定だつたが、後陸通ぶる所の後貝加爾援助事業に幾分關與したり交通機關不備のため浦鹽哈府方面行きを中止し豫定を變じてハルビンより南下して來た

▲後貝加爾援助 後貝加爾州の援助委員會は最近ハルビンに於ける吾が有力方面により組織されたもので十六日その第一回委員會を開き我が援助委員會と聯絡を保ち第二回第三回と引續き會合する事となつてゐる、此の援助委員會の設立されたのは過般將軍の輸送に付後貝加爾鐵道沿線の盡力尠くなかつたからと云ふので、武內中將はその御禮として臨時列車（予の便乘せる）に麥粉を積み込み各驛にその配給贈與をして行つた、所が何地に於ても知了されてゐるやうに西伯利內地に於る

▲物資の缺乏 はその極に達し慈善的救援の模樣さへある、將軍が若干量の麥粉を配つて行つたゝめ、素より停車場附近に於る露人の歡喜は甚大なものであつたが、さりとてその配給は需要の量に比し焼石に水の感がある、實際食料品の配給を後貝加爾地方にす事は焦眉の急であるから、中將は州の當局その他とも協議し各種の方法を決定七日ハルビンに歸來後同軍や總領事と尋常ならぬ肝煎で滿鐵三井三菱金鈴木鮮銀その他の代表者と後貝加爾州へ食料品の供給を行ふ事となつたのである、價格は原價に均しい低廉なものであるから供給を希望し其配給を重ねたならば露人の喜びは如何に盡し難いであらうと思はる

▲奧地の鮮銀券 同方面に於ける朝鮮銀行の派出所は第七師團司令部の駐まれる滿洲里と第三師團司令部のチタにある、チタは開設後尙ほ淺く未だ鮮銀券の入り込みは多からざるもハルビンより滿洲里までの各驛では殆んど何等の故障なく流通され殊に支那人は鮮銀券の馴染も深いのであるから歡迎されてゐる、滿洲里はハルビンより近いやうに思はれるが尙ほ五百二十露里乃ち釜山より新義州まで以上に離れてゐる、そこに日本人は出兵前より入つてゐたのかどうかよく知らぬけれど現に五百名も入り込んでゐるらしい支那人は五千人乃至一萬露人は一千人內外との事であつた

▲齊多まで ハルビンより滿洲里までの六百餘露里は若干の耕地あり荒涼を見る外多く荒漠たる平野が打續いてゐる、行つても〱原野である、後貝加爾州に入ると木立が見ゆる、內權の林が點在してゐる、チタ附近には殊に立木が多い、チタは新聞にも多く書かれてゐるやうに後貝加爾州の首府でシゴタ河に臨み人口七萬閑靜平和な落ち着いた感じのする都會であるが附近は砂金の產地であつて、チタにはその集散多く富豪も少くないらしい、シュンホースなどといふ露國有數の富豪もある、日本人は軍人を除きそれでも約二百名位入り込んでゐるとの事だが、物資缺乏は非常なもので物價は目玉の飛出る程高い

◎棉價突飛高

木浦に於ける實棉の價格は從前の暴騰を告げ百斤三十二圓五十錢の突飛を唱へ居るため大手筋たる鈴木商店三井物產並に朝鮮棉花各會社は何れも買出を手控へ居るため出廻り多からず目下手合せの行はれつゝあるは先高を見越せる鮮商方面なる由尙ほ講和來ると米棉の崩落は棉價の前途を軟化し居り此上の高値は望み難かるべしと

◎黑鉛界軟弱

一時非常の昂騰を示したる黑鉛相場は前途漸く軟弱に傾き鮮內に於ける同業者の數も漸次減少しつゝあるが今客月中元山を經て內地に仕向けられたる同品數量を聞くに百十一萬三千六百六十斤、價額二萬二千七百七十四圓なるが前年同期に比し三十八萬五百二十斤、九千九百九十九圓の增加を示すに至れり之れ如上の內地市場極めて不良なるも產地に於ける在荷多く之れが整理をなす爲め如斯き增加を見るに至りたりといふ因に元山年今に於ける黑鉛は土藏並にて百斤に二圓見當なりと

◎横斷復航積荷 昨今

北鮮並に間島方面に於ける物資輸入期に付最近朝鮮郵船の日本海横斷航路復航は棉絲諸雜貨等にて船腹概ね充足し居れりと

◎市川中將發期 軍參

謀長より由良要塞司令官に轉じたる市川堅太郎中將は十八日午後八時龍山發列車にて新任地に赴任すべし

◎黑井中將北行 旅順

要港部司令官黑井中將は十七日朝釜山上陸北行せり（釜山特電）

◎阪西少將通過 支那

軍顧問阪西少將は軍馬購入の爲め內地に出張中の處支那政府の急電に接し十六日夜南大門驛通過北京へ向へり

◎櫻井博士通過

九州帝國大學醫科大學教授醫學博士櫻井恒次郎氏は總督府の依賴に依り今回京城平壤釜山三箇所に於て體操講習會に臨席說明の爲め十七日朝釜山上陸直ちに北行せり（釜山特電）

人事消息

▲勅使河原地方法院長 十七日朝仁川より歸京
▲柿原西大門典獄 十七日朝內地より歸京
▲龍川利三郎氏（平北道長官） 十七日夜入京滿尾へ投宿の筈
▲大田三郎氏（鮮銀理事） 西伯利亞より十六日夜歸京
▲橋本茂之助氏（鮮銀上海支店長） 廿六日夜歸任

茶前酒後

◆歷史は洵に奇しき因緣を示す。本月七日獨軍セダンに破るゝや、獨逸宰相マックスは、遂に獨逸の敗退、最早斷乎たる處分に出でざるべからずとなし、カイゼルに退位を諫奏す、カイゼル亦止むを得ずして帝位を退けり。而して吾人は、カイゼルの退位が、セダン敗戰と共に行はれしに於て、即ち史上の奇緣となさゞるを得ざる也。

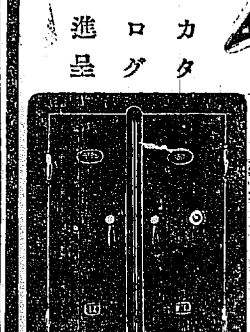
◆元來セダンは、普佛戰爭に於て千八百七十年九月二日、普魯西軍のために陷落せらるゝや、佛國皇帝奈波翁三世は、其前日獨將モルトケを始め、ビスマーク、ヴヰルヘルム等の坐前に、面縛降を乞ひ、ユーゼトヌ皇后は遠く英國に脫走せり。

◆獨帝も亦セダン要塞の陷落と共に、帝位を去りて和蘭に蒙塵す。セダン陷落が、佛獨兩帝の最後を支配する處、豈之れを奇しき因緣と云はずして何ぞや。更に之れと共に、獨逸國體にも大變化を來し同國の第三共和政府を宣言せるが如く、天下は兩帝國の手中に掌握さるゝに至りしは、古今同一轍の奇遇の妙と云ふべし。

◆戰前に於ける、世界の三大强國と稱せられたる、露、獨、墺は今何處にかある。露國皇室の悲劇、墺帝の逃亡、獨帝の蒙塵。是等三帝國が共和國となるや否やは、其等國內の事に屬し、吾人の意に介するに足らずと雖も、彼等が武力的强國たらざるに至りし事は、列强均勢の打算上に、一大變化を生ぜざるを得ず。

◆過激派の爲に崩壞されたる露國は、到底戰前の如く、虎視眈々たる强國となる能はざるは明か也。墺匈國は民族自決主義に依り、小邦分裂を免れざるべく、此處に近東第二の巴爾幹紛爭圖を出現するに至るべし。獨逸の運命は、未だ豫想し難きも、武器軍艦を聯合國に引渡したる後は、之亦到底昔日の强國たる事は、事實上に望み難し。戰前に於ける武裝的平和に於て、武裝國の頭目たりし露、獨、墺の三國が、最早丸腰の平民化せんとする今日、列國は尙武裝的勢力均勢を、維持すべきや否や。今後も尙武備競爭を繼續すべきや否や。聯合國が武備の制限をなすの時、帝國の立場は如何。之れ今より能く討究を要すべき、喫緊なる重大問題に非ずや。

昨夜出火の際は早速御馳せ付け被下御盡力を忝ふし一部分些細なる損害を受け候のみにて消火致し御蔭を以て御宿泊客の御所持品等は全部無事に御座候段各位の御同情に依る事と奉感謝候猶從來の通り營業仕候間倍舊の御引立被下度奉希上候不取敢以紙上御禮申上候 敬、白
大正七年十一月十七日
京城旭町 原金旅館 電話一二一五番



◎コークス發賣廣告
拜啓各位益々御隆昌奉慶賀候却說豫而戰時工業勃興と船舶の不足に基因して內鮮各地共に原料炭頗る品拂底と相成り從つて各鐵所並に鐵工所等に使用缺くべからざるコークスの缺乏を來し居候折柄今般弊所に於ても東洋一の稱ある高島炭を移入致し同炭を使用して內地製品に毫も遜色無き純良無比なるコークスを製出致し左記特價を以て發賣仕候間是非共御試用の上陸續御用命の程奉願上候
注意 固定炭素に富むが故に發熱量高當にして火力最も强烈なり 硫黃分・燐分・揮發分・水分等不純物の混和せざる爲灰分頗る僅少なり

山下新製品コークス改定定價表
壹號（鑄造最適品）壹噸 金百貳拾圓
貳號（同 上）同 金百拾五圓
參號（鑄 造 用）同 金百拾圓
四號（同 上）同 金百五圓
五號（鑄造其他用）同 金九拾圓
六號（製鍊製鐵其他用）同 金八拾圓
七號（同 上）同 金七拾圓
八號（同 上）同 金六拾圓
本號以外と雖も御注文に應じ如何なる種類の品にても調製可致候多數注文の際は更に價格は協定可申上候
但シ一噸ハ俵入貳拾俵トス
◇品質の優良なるは既に使用者に定評あり
京城府（龍山）京町三五電話長一四四番
製造元 山下骸炭製造所
特約販賣店 京城、龍山、漢江通（三電話一〇七番） 寶榮商會
同 仁川支那町（電話八一九番） 村谷石炭部

龍岡江西 二郡聯合生產品評會
一會期 來十一月自十八日至廿二日五日間
一會場 龍江公立普通學校
一餘興 妓生演舞、活動寫眞、白日戲、演劇、樂隊、煙花等
龍岡郡協贊會

○檻のやうな捕虜列車

強制的に徴兵された憐な良民もある
露西亞軍に渡すのでは殺されるんだ

二日知多にて 從軍記者 早川磐溪

ウラル戰線で捕虜となつた赤衛軍約二千は一日頃から續々東部西伯利に送られつゝあるが、二日夜その護送列車がチタに到着するのを待つて襲撃した

檻の樣な護送車 獸の如き亡國民

痺れを切らして待つてゐた記者は護送列車が到着するや否や、驛構內に横たはつてる貨物車や客車の下を潜り抜けて護送車に乗込んだ、護送車は頗る頑丈に出來てゐて窓には鐵の格子が箝まつてゐるのが如何にも猛獸の檻のやうだ、車內に入つて見ると捕虜の或者は腕を組んだなり蹲つて居り、或者は窓に縋りついてゐた、何れも明日の運命も測られない者許りとて顔色は憔悴してゐた 記者は西伯利兵が護送車を指し乍ら「機關銃でバラ〳〵遣つけりやそれでお終ひさ」と言つて呵々笑つたことを思ひ出して慄とした、野獸の如く露國を荒し廻つて亡國民も、憑うなるこそ哀れの情が湧く。

捕虜は必ず鏖殺 冷酷な露西亞兵

親の讐だと苦しみを見て嬉ぶ

此等捕虜はヴオルガ方面から東進し來たつた赤衛軍の一部でサマラ方面軍襲撃の際捕はれたものである、西伯利戰線軍中では捕虜はごし〳〵殺戮する事になつてゐるが、ごうした譯か東部西伯利に護送して來た、何れ追放か、鑛夫かそれとも銃殺か、三者の中一つを選ぶであらう、此の寒さにも拘らず夏服一枚で震へて居るが、番兵等は俺の親兄弟が此奴等に殺されたのだと苦しむのをさも愉快氣に眺めてゐる、捕虜の中には十七八の少年やよぼ〳〵の爺さんも居た、彼等の多くは過激派政府の強制徴兵に應じたもので、戰線では獨逸軍隊から非常な虐待を受けたさうである

捕虜の談

過激派に就かねば殺され
就けば殺さる

記者はシユワルツ、ヨゼスと言ふ青年の冷たい手に握られつゝ次のやうな話を聞いた

彼の家はモスコウの一雜貨店で、昨年十一月頃の過激派と反過激派の戰ひの際、家屋は砲彈に當つて破壞された、恰度サマラに避難中であつたから家族には何等異狀はなかつたが這度ウオルガ河方面の戰爭が起つてサマラが過激派の占領する處となるや強制的に徴兵された、戰線に立つてから赤衛軍から抜け出さうとしたが監視が嚴重で脫走出來ないので止む無くチエツク軍の捕虜となつた、然し過激派に就かねば殺されるし、就けば殺されるのだから、覺悟はしてゐる、捕虜のこと慈然たる事久しかつた、捕虜の中には記者を日本の軍事通信員と知つて、日本はウオルガ方面に出兵するか、日本は過激派を憎んでゐるか、我々を助けては呉れまいかと、頻りに尋ねたので記者が、日本軍は過激派と雖も憎んでは居ない、捕虜は皆んな露國軍隊に引渡して自ら手を下すやうな事はない、と言ふと彼等は急に絶望的な聲を放つて、『露西亞軍に渡す!!!ぢあ皆んな殺されて了ふんだ』と言つてゐた。

◇御野立所にて史蹟御聽取

十六日午前十時十五分より三十分間 聖上陛下には結城の御野立所にて退役陸軍砲兵中尉大和田右太郎氏より南北朝時代陸常に於ける戰軍就中北畠親房の事蹟に就き御說明を聞召され同中尉に對し御菓子料の下賜ありたり（宇都宮電報）

◇御歸還の白耳義皇帝と御家庭

慘禍の白耳義は玆に光榮ある休戰と共に再び首都に皇帝アルベール陛下を迎へ奉り戰亂のため久しく中止されてゐた十六日の皇帝命名祝ひをも共に擧行する事になつたといふさなきだに白耳義の喜びを誰が祝はないものがあらう、アルベール皇帝陛下は先帝リヨウポールド陛下の甥、即ちリヨウポールド二世陛下の弟御フランダア伯爵の長子として千八百七十五年ブラッセルにお生れ遊ばし、陛下に在せし頃、獨逸のバヴリアの皇女現皇后エリザベス陛下と御結婚遊ばされ、先帝の崩御、父君の薨去と共に、千九百九年十二月廿三日に皇位を繼承なされた、皇子御二人皇女御一人、普通ならば溫和にお暮し遊ばさるべきを人逆の獨逸の爲めに領土を蹂躪されて非常な御苦心を遊ばされたが、今日休戰條約調印と共に首都ブラッセルに御歸還狂喜せる國民に迎へさせられて、絶にて久しき王宮に皇后皇子女と喜びの御座にあらせらるゝであらうと謹察するも淚である。寫眞は（上）アルベール陛下と（下）皇后及び皇子女

○ブルガ

土人はこれを魔風と稱し
これに逢つたら死ぬと……

吹雪を伴ふ颶風

日本の氣象界では目下滿蒙地方を目して大陸氣象の『活動の中心地』と呼んで居るさうであるが、冬季になると此地方は氣候が激變して日本では想像も及ばぬ、酷寒と烈風とが見舞ひ不思議な奇現象を呈する、就中蒙古語でブルガと呼ぶ風は、嚴寒中時々襲來するが、ブルガは一種の颶風で、此の風が吹くと必ず吹雪を伴なふため、一時は

▽…天地暝朦 として四邊をも辨じ難くなる、土人は之を魔風と呼び此の風に當られると必ず死ぬと信じてゐるが、斫麼馬鹿げた事は絶對にない、只吹雪のため眼も口も開けなくなり、道を迷ひ方角が解らなくなつて、凍死する者があるから、ブルガに見舞はれた場合は地隙か人家に入つて風の收まるまで待つか、馬に乗つてる場合は早速飛び下りて

▽…馬の尻に ついて歩けば決して過ちはない、馬は如何に吹雪が激しくても必ず一度歩いた道は知つてゐるから、手綱を放して勝手に歩ませ馬の風下について歩けば決して危險なことはないとか（早川）

○南北眞の妥協は 愛國的の憲法制定

支那軍事顧問 阪西少將車中談

軍馬の購入に歸つてゐたのだ……

支那軍事顧問阪西少將は支那政府から急電に接し夫人同伴急遽渡支の爲め十六日午南大門驛通過北行した少將は和服に土耳古帽と云ふ一見俳諧師の如き扮び一等車に乘込んで居たが途中迄出迎へた記者が刺を通じると『ヤア〳〵見付かつたか今度は秘密に行くつもりだつたのだ』と冒頭して成べく問題を避ける

▲急遽渡支 の事情ナニ大した事情が有る譯では無い唯黎藤中將が俄に歸朝を命ぜられたから其お留守番に來いと云ふ迄サ、ソレに對外兵備として新に鮑君が主になつて行つて居る三個師團增設に就て吾輩が萬事の衝に當つて居るから多少其問題が有る位だ三個師團の增設は目下各省に渡つて兵卒招募中だが其將校は全部學校出を使つて一ツ模範的軍隊を作つて範を示すつもりだ將校は既に全部招募濟だが彼地には砲兵に使ふ

▲軍馬が無い 實はソレを吾輩が內地へ購入に行つて居たのだ然し急遽の渡支で一時見合せて來た其一個師團は北京に置くつもりだが後の二個師團は何處に置くか分らない三個師團增設が南方威嚇に力があつてソンな事は無いよ此軍隊に限り絶對內政に携はらぬと云ふ約束付だハヽヽ南北妥協に結構な事だ此問題は支那でこそ重大問題だが外國から見れば殆んど兒戲に等しいもので問題にする程のものでないよ然し

▲南方派が 依然として舊約法の復活を頑として主張して居ては到底妥協なんて夢にも見られない近來南北共に諸外國の情勢から見てコレは斯うして居られないと云ふ事に氣が付いたらしいから或は實現されるかも知れないマア吾輩の考へでは南北が集まつて舊約法も現約法も全部水に流して終つて眞に愛國的觀念から生れた憲法の制定をすれば先づソレが南北妥協に一番意義あるものと思ふ兎に角何れにしても愈妥協實現迄には可成の時日を要する事である

▽黄菊會といふ婦人會がある

阪西夫人語る

阪西少將夫人は語る左樣今の徐總統の奥樣にはまだ一度もお目にかゝつた事は有りませんが前の段總理の奥樣には度々お目にかゝりましたお年丈けに健かりとしたお方ですエヽ段前總理は政界を去つて以來全く閑日月を北京のお屋敷で閑碁にお暮しなさつて居ます近頃內地から入しやつた五段の廣瀨さんとか仰しやるお方から圍碁を熱心に教つてゐらつしやるので近頃初段の力が出來たと云ふお話です北京の婦人界には黄菊會と云ふのがあつて初は隨分會員もありましたが一人減り二人減り昨今は極く少數の會員になりました其內日本人で支那人の奥樣になつてゐらつしやるお方が段々精神的に支那化して行かれるには甚だ遺憾に堪へないので慨慨してゐらつしやるお方が大分有る樣です

○大連の休戰祝賀會

大連休戰祝賀會は十六日正午より大和ホテルに於て市役所主催の下に聯合國各領事市民有志四百餘名參集し石本市長の式辭にて開會聯合國國歌を吹奏し米國領事ウイリアム、ソンシ氏登壇聯合各國元首の萬歲を三唱して乾杯を擧げ祝宴を終り午後六時より降雨を冒して提灯行列あり市中各銀行會社は午後より休業全市國旗、球燈を掲げ歡聲溢れ在留外人等も行き逢ふ人每に萬歲を連呼し合へり（大連特電）

毎週ポンチ 鴫と小鳥 ＝助太郎＝

西君の御父さん今年から銃獵を始めたが何さま日が淺いので何時の日曜にも一羽の雀さへ捕り得ずしてすご〳〵と歸つて來る西君も少々情なくなつて此の日曜には昨年から撃ち慣れた空氣銃を肩にしてお父さんと同道で出かけた

▲今日も相變らず天氣は持つてこいの狩獵日和だがお父さんの討つ彈は悉く的から外れて午後になつても相變らずの不猟續

▲之に反して練習をつんでゐる西君の腕は一仲々達者で百發九十中位は間違がない、夕方までに四十羽餘りの小鳥を獲つた

▲お父さん殘念で仕方がない此儘歸つては馬鹿らしくて歸られずさう〳〵西君に妥協し違ふ金で小鳥四十羽と交換した

▲敏感の西君此一圓は乃公のものだお父さんを騙かすのは此時だと鳥屋に飛込んで鴫一羽を買つて空氣銃にぶら下げて歸つた

▲玄關に迎へたお母さん、西坊の鴫、お父さんの小鳥を見て不審顔西君の說明でやつと解つてオヤ〳〵

○西軍飛行機墜落

高橋飛行中尉重傷、飛松偵察中尉危篤

◇大演習偵察勤務終了後に、勇ヶ原飛行場にて

◇大演習西軍飛行機二百十八號は十六日午後二時十五分偵察勤務終了後、勇ヶ原飛行場にて五十米突の高度より墜落し操縱將校砲兵中尉高橋績氏重傷を負ひ偵察將校騎兵中尉飛松辰雄氏は危篤なり（東京特電）

△兩中尉落命 十六日大演習地にて墜落せる高橋飛松兩中尉は遂に同午後五時落命せり依て大元帥陛下には大內侍從武官を御差遣慰問せしめられたり（東京特電）

○チタの火事

停車場倉庫より發火
俘虜の放火か

十一月二日夜第一チタ停車場構內の倉庫から火を發し見る〳〵內に附近の大建築等に延燒し我鐵道側にては盡力したるため約三時間の後鎭火したるが同倉庫も危く燒けんとしたる部其他より日本軍出動し消防に努めたり出火の原因は鐵道側にては過失なりと主張したるも發火の前後に驛構內に到着したる赤衛軍捕虜護送列車より窓を破つて捕虜逃走し驛の內外大騷ぎをなしたるより察すれば逃走捕虜の仕業らしく想像さる殊に捕虜は寒氣甚しき折柄にも拘らず夏服を着し居る程なれば苦痛の極火事騷ぎの混雜に乘じて列車を破壞し逃走を企てたる形跡あり其翌日も又復支那人家屋に放火したるものあり最近のチタ市中は火事騷ぎ强盜騷ぎ銃聲騷ぎ頻々たる有樣なり（チタにて早川生）

○革命のお婆さん米國へ

殺されたのでない

華盛頓來電＝オムスクよりの報道に依れば露西亞革命のお婆さんとして知られたるブレシコフスカヤ女史は存命し今や米國に向ひ渡航の途中にあり女史は曩に過激派の手に依り死刑に處せられたりと傳へられたるものなり（東・特電）

○英國の惡性感冒

一週に死亡者七千五百餘 前週イングランド及びウエールスの大都市にて、インフルエンザの爲め死亡せる者は七千五百六十名に達せり（倫敦電報）

○獨帝の退位を信ぜず

久留米の俘虜

◇何でも早く歸國したい 目下久留米俘虜收容所に在るアンデルス少佐以下千二百名の獨逸俘虜は收容當時より既に五年を經過せるより祖國の事なごは念頭に無く極めて

▽呑氣千萬の 生活を爲し食物に贅を盡し運動に浮身を窶し居れるが渡邊副長は十三日今回の休戰發表とカイゼルの退位に關し將校、准士官、兵卒の意見を訊きたるに將校は『國內別の狀況如何に依りては獨逸と云へども休戰の申込を爲さぬ事もあらざるべし、然も該條約は決して屈辱的なるべき筈なし又『カイゼルの退位は絶對に有り得べき事に非ず』と語り准士官は『國內の事情已むを得ず休戰を申込みたるならんも

▼屈辱的條件 は結ばざるべし』と將校同樣の意見を吐き『カイゼルの退位は絶對に無し』と否認せり、兵卒は『休戰申込は是認したるも內容は知らず、唯我々は一日も早く平和の來らん事を希望す』と述べカイゼルの退位は前二者と同じく絶對に否認せり、要するに兵卒等は一日も早く歸國の日の來らん事を待ち侘居れり（福岡）

○檢事同情す

＝釜山後妻斬公判

◆判決は二十一日の筈 釜山西町後妻斬の樋口さじゑの公判は十六日釜山地方法院に於いて開廷傍聽席は殆んど婦人を以て埋められたるが檢事は前後の事情に就きては妙からず同情を寄し懲役一年半を求刑し辯護人亦本人の心事に御同情の上執行猶豫の恩典に預りたしと結論し本人を始め傍聽の婦人の眼をしばたゝかしめたり判決は來る二十一日の筈（釜山）

○抱月氏に殉死したか

滿洲の轢死美人

元藝術座女優の萬里子 寒風吹き荒む十四日の午後六時頃滿洲橋頭驛を北に去る五十米突の箇所に於て年若き美人の鐵路の露と消え居るを發見せるより直に警官出張檢視の上死體は一時假埋葬に附したるが轢死の美人は北海道札幌區澤田菊子（二五）にて故島村抱月氏の藝術座が滿鮮興業の際同座に從ひ

◆◆女優 萬里子として舞臺の人となりつゝ以前想思の夫たりし某醫師が滿洲邊りにあると云ふを淡い賴りに尋ねる內漸く橋頭にて尋ね得たれども夫は既に二度目の家內を持ち子をも擧け居るに失望すると共に斷然藝術座を去つて一時滿鐵病院の看護婦を勤め居たるが此程

◆◆恩師 抱月氏の病歿を聞き驚きの餘り極度の憂鬱症に罹り鬱々として日を暮し居たる由なれば或は抱月氏の後を追ひ轢死せるものならんかと（奉天）

○唐川吳服店閉店賣出し 開業既に十三年斯界にかけ老舖として多大なる信用を博し居りし市內明治町唐川吳服店は都合により今回閉店することゝなり十七日より店仕舞大賣出しを開始したるが殆んど仕入價格の半額にて好人氣なり

○寒い時の赤ん坊（中）

何うして育てる

總督府醫院 河野醫官談

生後百日位までは安靜にせねばならぬが夫かと云つて寢せてばかりおく必要はない、天氣の好い日には靜かに抱いて出て時々日光に當てるが好い、日光は神經系統を刺戟し血行を盛んにする、從つて赤ん坊の

◆發育を助 けることは非常なものである、赤ん坊の部屋は明るい方が好いか暗い方が好いかと云ふに、明るい方が好いが寢せるには少し薄暗い方が好い、餘り明るいと神經を刺戟する結果容易に寢付かぬものであるから注意せねばならぬ、殊に

◆夜電燈を 煌々とつけておくなぞは考へ物でこれ等は是非燭を弱くするか布を冠せるかして薄暗くする必要がある、入浴は大抵の家庭で毎日缺かさぬのみか甚だしいのになると日に二度も三度も入浴させることがあるやうだが是も亦考へ物である、それは何故かと云ふと入浴後人は非常に

◆體溫を奪 はれるもので油斷をすると風邪を引かすやうなことがあるからだ、斯麽譯で私は毎日の入浴も實は多過ぎる、不必要だと思つて居る位だから增して日に二度も三度も入浴させるなぞは以ての外だと思つて居る、而し赤ん坊と云ふものは能く汗をかくものであるから肌著だけは毎日二回位

◆取替へて 遣る必要がある、汗に塗れたものを何時迄も著せておくと矢張風邪の因になるから氣を付けねばならぬ、汗の序に云つておくが子供の寢汗は餘り心配しなくても好い、尤も病的に寢汗する場合は別であるが唯だ寢汗をかくと云ふ丈けならば格別怒ることはいらぬ

○新義州通信

木材會社の擧式

[illegible]同落成祝ひに託し盛大なる白祝宴を開催したるが藤川道長官新支部其れより關室新義州營林[illegible]の多數其尹の發聲にて會社の萬歲を齊唱し始し已に食堂の鄭重なる待遇に滿足せる來賓は更に十二分の滿足を[illegible]

○吉林孟夫人

襲に北京に[illegible]

○連絡船上陸客 十六

[illegible]

天氣 曇 但 [illegible]

演藝案內

本町二丁目 電話一〇五〇 壽館
▲當る十一月十八日 ▲浪界の天才ダイヤモンド雪子 ▲新內三味線 [illegible] ▲成田利生記 吉川辰丸 ▲入情ばなし [illegible] ▲軍人教育 [illegible] 日本活動寫眞株式會社代理店

櫻井町 電話八七三 大正館
『三度目』全二卷
『妖雲』全三卷
『迷の雲』全三卷
『一寸德兵衛』二百五場

本町三丁目 電話五七八番 壽座
大阪歌舞伎大一座 當る十一月十八日八回目 前狂言 伽羅先代萩 中狂言 菅原傳授手習鑑 寺子屋ノ場 切狂言 油屋 奥兵衛 上下

滿員御禮 尾上松之助 中村扇太郎 合同劇 一寸德兵衛
新派悲劇 迷の雲 四卷
泰西活劇 妖魔 三卷
日活特約 大正館

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニバーサル會社特約 早川演藝部直營活動寫眞常設館 有樂館
◎大活劇 寢臺車の秘密 全三卷
◎滑稽 地圖の陰 長尺
◎奇活劇『夜半の叫』全三卷
◎番外『くらがり峠』
◎活劇『黑鷲』全五卷

明治町二丁目 長電二六〇番 浪花館
大阪一流女義太夫竹本長廣大一座

日活直營 黄金館
劇 左甚五郎
大活劇 大秘密
悲劇 花時雨 全四卷

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし
レートポマード

此の……新煉香油生れて、男子にはコスメチツク、女子には髮附が全く不要!!

それ程附け工合といひ、艶といひ、匂ひといひ、一點の非難のない最新式の煉香油です。

東京 平尾贊平

…りたるを以て恰も既に…張工事の落成を期とし十日午後一時より新義州公會堂に於て…他內外主なる官民百餘名出席…社長の挨拶に對し藤川道長官來賓…を代表して謝辭を述べ更に石原府…二時半より樓上に於ける…特命せる入念の模擬店六箇所を開…て又實に新義州に於ける此種の…の最も盛大なりしものなるべし

○滿洲は妙な土地だ
綿でも麻でも米でも能く穫れる
と語る東省實業會社の內藤專務取締役の談に曰く

東省實業會社に內藤專務を訪問すれば極めてせゝこましい態勢の好い調子で語りて曰く（奉天支局記者）

◆講和問題　ご滿洲この關係は左程の影響はあるまいこ思ひます、何故なれば今日までに投資された諸般の事業ご云ふものは極めて安全にして確實なるもの〻みで所謂濫費に於ける賭利を求め富源を開くこ云ふ樣なもの許りで戰爭によつて刺戟され計畫され實現されたものこは全然性質が異なつてるからであります

◆毛織會社　も極めて好人氣を以て迎へられてる製麻會社も亦遠からず創立を見るであらう、兎に角に滿洲の土地こ云ふものは一風變りの不可思議なる土地である麻を植ゑれば麻、棉を植ゆれば棉、米を作れば米こ云ふ具合に何れも非常な勢ひを以て出來る、殊に棉の如きは尤も好成績である在來種でさへ其の色は極めて純白く其の纖維は細く長く天津方面で產するものよりも一等上のものが出來るのであるから此れに人工的に

◆種子栽培　の改良を加へたならば必ず立派なるものが得らるるのは期して待つべきであらうこ思ふ、此意味に於て此次に起るべき滿洲の事業は正に棉花事業であらねばなるまいこ思ふ、麻は非常に良成績である、滿洲に於ける麻布麻袋の需用こ云ふものは實に莫大なものである、其需用を充たすべく計畫されたのが製麻會社であるが、其原料は滿洲に於て幾らでも得らるるのである、遼陽を中心こして二百五十支那里位の地は何處でも麻に適した土地である、現に遼陽の如きは既に麻を盛んに栽培して非常なる好成績を示してるのであるから是も有望なる事業である、更に米である是も極めて有望なる事業であるこ思ふ、只愛に一つの問題は

◆水利問題　である、水利の途を充分に講じてかゝつたならば滿洲に於る稻作は甚に有望であるこ思ふ、其には滿洲は平坦々たる平地で其間を澤山の河が流れてるから其の河水を利用して吸上式こか何こか云ふ方法によつて水利灌漑の方法を講じたならば立派なる良田が何百町何千町こ得らる〻であらう、最近の調査から見るこ稻ならば天津方面でさへも出來るのであるからネ、又滿洲に於る米作は大豆を作り黍を作るよりも一番利益が多いこ云ふから、或ひはれないにしろ滿洲の米作は將來極めて有望なものであらうこ思ふ

○銀の祟
露貨で一儲
◆和議の聲に促されて◆

一時百七十圓臺を唱へた銀が講和說こ共に漸落に次ぐに漸落を重ね遂に百二十圓臺に下落した爲め大連方面に於ける對支那取引商又は銀相場に手を出して居る實業家乃至は官吏會社員等にて重大なる損失を爲したる者あり昨今寄るご觸るこ銀の失敗談にて持切りなり支那商人の投出は一層暴落の氣勢を助け從つて各種支那商品の下落を生じ支那人に對する取引頗る鎭靜せり銀こ正反對に昂騰一方なる露貨の爲めに大儲けを爲す者亦頗る多く昨今錢鈔取引所は變色替色雜沓を極め居れり銀は金丁度位までは每日ヂリ〳〵下りを爲すべしこ一般に觀測せられつ〻あり之れこ同時に露貨は漸次昂騰すべく從つて對支取引鈍狀を呈するこ正比例に對露取引は著しく活況を呈し來れり（大連）

◈新義州にて◈
安東縣支局　ワイ生

◆新義州に工業を起すに就て最も切實に必要を感ずるは動力の供給に御座候へ共今日の場合火力に依るの外なく候然るに新義州電氣株式會社は對岸安東の滿鐵電氣營業所こ契約する處あり目下新設中なる第三發電所の落成するこ同時に一切の電力の供給を受け電燈は勿論電力の供給を請負ふ事こ相成候由に付自然電力の供給も十二分こ相成るべく當地產業界の一大福音こも申すべく候

◆最近當地に起業せられたるシンナム染料製造所は其成績未だ大安心こ申す事は出來ざるも今の分に於ては販路に差支ふる事は絕體に無之のみならず製品は殆ご全部を營口に供給するに足らず其他內地は勿論臺灣方面よりの註文も殺到し候由

◆元來シンナムの原料なる樹葉は朝鮮各地に產出するも、其採集的產地は平安北道にして採取の時期を誤らず、乾燥さへ十分なるに於ては原料の蒐集に困難を感ずる事はなかるべく生產地の農家の如きも、婦人小兒にして一日優に四十錢に相當する採取は容易なりこ云へば、斯業の前途は頗る有望なるべしこの事に御座候

◆新義州民の寄附金約二萬七千圓を投じたる公會堂及び平北物產陳列館は愛に落成し新義州に於ける堂々たる建物の一こして數へらる〻に至り申候公會堂は平家にして八十八坪優に三百人の會衆を收容するに足るべく將來何かの會合に於ても非常の便利こ存じ候其の利用は一にかゝりて新義州官民の協同一致に外ならずこ存じ候

○利原の新利源
交通路の短縮こ群仙の築港
百萬圓の新會社

咸南利原郡は道の北部に位し前に遮湖群仙の兩港を控へ平地多く大豆牛等の產物豐富にして郡內の民度平均し小作の如きも僅か十分の三に過ぎざる程にて殊に海產物に富み大いに屬目され居たるも何分奧地この交通機關不完全にして他郡この商取引極めて困難なりしが今回同地官民有志相計り同郡邑內より厳嶺を超え北青の北方にして甲山街道の蹄項里に至る道路の開鑿に着手し目下日々數百の夫役を出し工事中にして本年末迄には全部竣成の豫定なる由なるが同道路開通の上は從來沿岸より最も奧地こ近距離に在りし新昌港よりするも尙二里二十八町の

距離を短縮し得
る由なれば同郡の奧地交通上非常の便益を得べく尙同邑內より約一里を隔つる群仙港の築港も目下計畫中に屬し既に人夫の準備等も出來居る由にて之等交通機關完備の上に於て同地特產物の搬出及び貿易業並に海陸運送業を營む目的を以て同地

內鮮實業家協同
し十萬圓の資金を以て株式會社を組織すべく既に準備成り居る由なれば同郡の將來には正に面目を一新するものあるべく一般に囑望せられ居れりこ尙同郡の大富源たる利原鐵山は過般一百萬圓の株式組織こ爲し目下日々約一萬噸の鑛石を搬出し居れり（咸興）

○平南の綿絲業

大正六年度に於ける本道實棉生產高は四百九十九萬七千二百五十斤にして內五割は道內に於て消費し他は道外並に阪神地方に移出せり而して道內に於ける綿絲業は機械繰綿及び足踏の二種にして足踏繰綿機は平壤を中心こして各地に多數散在し自家消費棉の約八割即ち百四十九萬九千七百七十五斤を繰綿し約四十一萬九千七百六十九斤の繰綿を產出せり其他自家在來手製繰綿機にて二十七萬四千八百四十八斤の繰綿を產し鎭南浦西鮮繰綿工場に於てはローラ式繰綿機二十六臺を設置し動力百廿馬力の蒸氣機關に依り繰綿に從事しつ〻あり平南に於ける實棉生產高は百四十四萬九千斤及び陸地棉（實棉）百八十八萬八千二百九十八斤にして全部之が繰綿を大阪に四十八萬四千七百三十五斤神戶に五十八萬一千七百斤の棉綿を移出し其金額九十四萬二千九十九圓七十五錢に及べり其他實棉にて道外南鮮地方に移出せしもの百四萬九千六百斤にして是等道外の各繰綿工場に消費せられ居れり而して作付反別は六年度に於て七千三百二町七反の作付を見本年に於て一萬九千三百七十四町三反に達し耕作反別近時年を逐つて劇增し斯業の發展頗る注目すべき時に當り而も現今平壤及南浦等に於て繰綿工場設立計畫をなすもの二三あり之に由りて之を觀れば今後本道に於ける繰綿事業ご棉作事業とは兩々相俟つて益々發展の機運に向ひつ〻あり（平壤）

大郎見物（五）
一貫生
吾輩は感服委員長

道長官閣下が、御案內下さる、吾輩は、洵に恐縮千萬、本館を橫拔けして廣場に出るこ、ソラ來たこ數千の頭は皆天井を仰ぐ、ブーツこ唸る音に面喰つて見上るこ、飛行機が飛んで來た、却々巧く飛ぶ、かなり强い風だ、實に巧いもんですよソラ全く鳥ですね、こ側に居たお役人が說明して吳れた、飛行機の上から見たら、數萬の眼の玉が星のやうに光つて居るに違ひない、眼の玉の破壞か出來て居る事だらう、申し合せた樣に仰向いた顏の口は開いて居る、口を開けなくても見れるものぢや、まさか飛行機から牡丹餅を降らすでもあるまいが、而し奇想天外より落つ御趣向もがな、或は砂糖の固まりが落ちて來るかも知れぬ、然らばウンこ口を開けよ、よしきたハアークツシヨン。

暫時此處でお待ち下さい、こ寒風を浴びて立つ、何でもおひるは鐵道南館こ云ふ、朝鮮造りの家で御馳走があるらしい、讀めたりウンこ腹の蟲をせめ付けさせて置いて、御馳走を美味く食はす計略だらうがいかさまボンヤリ立つて居れでは腹の蟲よりは脚の方が苦しい、やつこ嶺南館なる、即ち貴賓館こ稱する處に案內された、二階に上る、見晴しは大分好い、が風當りは强い、一同ひなたぼつこをやる、階下を通る朝鮮人等が不思議相に、珍らし相に見て居る、之では全く共進會に出品されたこ同樣だ、計略果して圖に當り一同の腹の蟲がソロ〳〵聯合會議を開いて來た、革命騷動でも起し相になつて來た、やつこ下の方へこ云ふ案內、ゾロ〳〵階下の一室に消入る、洋食の午餐會が始まつた、形の如く挨拶の交換があつてパクル、實際の處見渡して見るこ、茶漬でサツサこ搔き込みたい樣な顏をして居る、フォーク〳〵鳥渡力を入れるこグイこ曲つた、之は大變こ机の下でソツこ直すこもこの通りになる、成る程之は調法な奴、伸縮自由、新發明の新來品、こ獨り感服して居るこ、側の男に馬鹿こ笑はれた、イヤ吾輩は一行中の感服委員長だから其う笑ふナヨ。

○米こ炭‖馬山
◆總督府製の炭に就て◆

馬山地方にては正米及び定期米低落の入電あるに拘らず白米小賣相場は一向に値下げせず依然四圓三十錢を維持せしが新米の出廻りこ共に昨今二三錢方の低落を見るに至れり然るに木炭は總督府に於て大邱演習林を伐採して製炭し調節を謀る趣き夙に一般に宣言されあるに拘らず今以て該木炭の放賣なきに冷氣は日に其度を增して火氣を要求するの期に入りたるより內鮮双方にて製出の木炭每日の如く騰貴し目下內地炭六貫目入一表三圓內外を唱ふるに至り鮮人炭も一揃四圓乃至四圓五十錢ならでは手に入らざるより一般需要者の困憊一方ならず何れも總督府製品を一日千秋の思ひに待ち居れり（馬山）

○間島白豆狀況

間島地方白豆の出廻期に入りしを以て昨今龍井村市場に出廻る白豆は夥しく現在約一萬俵にも達し頭道溝附近の空地に山積せられ居り甚だ偉觀を呈し居れり而して目下買收に努めつ〻あるは清津貿易商が組織せる旭組合こ神戶內外貿易社この二手にて昨今內地相場は講和說にて弱氣なるに係はらず前途を見越して兩者共買收に努めつ〻あり而して當業者が白豆輸出上困難し居るは龍井村會寧間運送力の缺乏にて目下兩地間は一石三圓三十錢この高率なる運賃なるに係はらず馬車不足のため甚だしき打擊を蒙り居るより商業者は之が救濟策こして從來牛疫の爲め朝鮮領より牛車の往來を禁止せられ居るも牛疫は本年四月より全く其跡を絕ちしを以て之れが解除を官憲に陳情する所ありたりこ（清津）

○東省實業と靑島

奉天の東省實業株式會社は創立日淺きにも拘らず其の營業振りは極めて活潑なるが近來靑島方面に於ける事業にも著手すべく着々計畫を進めつ〻ある模樣なるが是れに就き內藤專務は語りて曰く該方面の事業を會社直接に行ふは定款の範圍に於て何等支障なき所なるも外遊其他諸種の事情上目下其の經營の方途に就いては確定したる所なく或は同地方に於て本社同樣の別個の會社を組織し以て經營の任に當るやも計られず研究中に屬すこ兎に角に同社の同方面に着目し事業計畫をなせはる事實にして近く專務の再遊を見るべき豫定なりこ（奉天）

◈がら空の大兵營

最近北鮮對岸の露領ボセツト地方から歸來せる人の話に依れば今から十五六年前露國は極東防備の爲め同地方に數年の歲月を費して兵營を新設し二個師團に近い軍隊が駐屯して居たが歐洲戰亂及び國內騷擾の爲め軍隊は全部引揚げ一時は賑はつた同地方も今は住む者もなく折角の兵營は荒れ果て茫々こ生ひ繁りし草に埋もれ實に荒涼たる有樣で今昔の感に堪へなかつたこ（淸津）

○商船會社の
朝鮮航路擴張

大阪商船會社にては朝鮮各港に對する船舶不足緩和の爲め各航路の配船を變更して出來得る限り利便を圖る由にて今回北鮮定期航路船たる安平丸、宮島丸の外臨時航路を差向け充分に廻送し得る準備成り既に朝鮮廻航せしめたる御吉野丸（三千九百噸）箱崎丸（千五百二十一噸）海和丸（千六百八十噸）を備船し此の外朝鮮、大連、北支那、航路こして沖繩、能登、第二久美、綾浦、安東、信濃、汕頭、大智、大住、須磨丸の各船を配置し特に釜山阪神間の爲めに美保丸は何時にても輸送貨物激增次第廻航せしむる由（釜山）

○慶北共進會
延期は見合せ
◇但し一日は無料觀覽◇

目下開會中の慶北物產共進會は一時大邱市中の料理屋、宿屋營業者等よりの懇請に因り五日間延期の議ありたるも共進會當局者は斷然延期せざることに決定し豫定の如く來る十九日を以て愈閉會する筈なるも尙翌二十日一日間に限り一般に無料觀覽を許す事こなれり（大邱）

○大邱の赤愛總會

既報の如く日本赤十字社、愛國婦人會兩大邱支部第二回總會は去る十六日午前十一時三十分慶北物產共進會場に於て開催されたるが當日は來邱中の山縣政務總監も赤十字社朝鮮本部長こして臨席し頗る盛會を極めたり（大邱）

○釜山の視察團

釜山商業會議所の慶北共進會視察團大池忠助以下四十名の一行は去る十六日午後一時十八分發列車にて大邱着共進會場各所の視察を爲したるが同夜は大邱官民有志發起こなり芳千閣に於て盛大なる歡迎宴を開催せり（大邱）

淸州
▲點呼　忠北道內に於ける在鄕軍人召集點呼は十三日忠州十四日陰城十五日淸州十六日沃川十七日永同の順序にて執行官は橫山少佐なり因に淸州分會に於ける受點呼者は下士以下七十五名なりこ　▲院長　淸州慈惠醫院長國見隆作氏は明治四十五年六月當慈惠醫院醫官こして赴任し大正六年一旦公州に轉勤せるも再び淸州に轉じ前後五箇年勤續せしが今次第一師團野砲第一聯隊附軍醫に榮轉せり　▲局長　新任淸州郵便局長村松與惣治氏着任　▲校長　當地公立小學校長こして大正元年以來六年勤續せし大塚正三氏は十日附鎭川公立普通學校長に轉任せるが後任こしては忠州公立小學校長に決定せりこ

咸興
▲除隊兵　本年十一月を以て除隊こなるべき咸興步兵第七十四聯隊除隊兵五百二十名は來る二十二日當地出發歸鄕の筈　▲工業界　寒冒の爲め人員缺乏を來せる當地工業界は目前に結氷期を控へたる爲め大繁忙を極め居れるが目下一般に晝夜兼行工事を急ぎつ〻あれば各工事共豫定通りの進捗を見るべし

○感冒は未だく
◆地方では中々衰へず◆

流行性感冒は各地こも概して終熄せる模樣なれご未だ地方によりては中々終熄せず死者續出し居る所あり今各地支局通信部よりの來信を摘くれば左の如し

◆咸安（慶南）　馬山警察署管內咸安郡は流行性感冒猖獗を極め學校、郵便局等閉鎖し郡廳にも四五名の患者あり內地人は數十名中殆んご罹病し鮮人も十中八九迄病床に呻吟せる有樣なるが死亡者比較的多數に上り中に一家四人暮しのものが三人迄同時に死亡せる杯の悲慘事あり咸安は馬山府を距る七里の南方にあり晉州に往來する要衝に當れり（馬山）

◆淸州（忠北）　一時猖獗を極めし感冒も漸く下火こなり各地方に於ても學を試みしが就中沃川永同槐山の小邑は內鮮人を問はず死者續出の有樣にて何れも戰々慄々たる樣なりし當淸州に於ける患者は總計千五百餘名こ聞き及びたるが幸ひにして死亡者は僅々七八名に過ぎず

◆咸興（咸南）　惡性感冒の爲め咸鏡南道警務部管內に於て死亡せる警察官は總計八名なり

◆釜山（慶南）　今回の感冒は釜山が最も甚だしき被害を受け死亡率も非常に多く出產率に比すれば四倍に當れりこいふ（釜山）

◈艶氣のある數字（釜山）

釜山の藝妓數は現在四百九十人ばかりある、ごうして此の前借金は迚も判らないが其の中で許可を與へ前借金總額の取締表（本年）を見るご左の如くである

一月	七、一〇〇	二月	一七、四八五
三月	一〇、七八二	四月	一七、二五〇
五月	一八、六四〇	六月	一二、二七七
七月	一二、四三五	八月	一九、一六三
九月	二、八九五	十月	一九、八二三

而して一人の前借高安きも三百圓以下のものもなく高きは千五百圓以上のものもありさか

○砂糖よりも
高い食鹽
地方に於ける新現象

近來著しき騰貴を告げたる食鹽は鰻上りにせり上げ目下の相場原鹽五升三十九錢、再製鹽六十錢を稱へ而も品薄の爲め益々昂騰の趣あるも漬物の季節を控へたる需要期の事なれば高値を忍びつ〻求せり尙石油も鳥致院よりの著荷無く漸く在庫品を以て需給し居るも其價格は一層の强氣にて一箱松箱十四圓臺を稱へ殊に鎭川、報恩、槐山、陰城の各地にありては市日每に五十錢一圓こ値上をなし一般需要者側にありて頗る困難を訴へつ〻ありこ（淸州）

○今度は平北で
牛の買占
黑幕は何者か
當局は警戒す

最近平北鐵山郡內に慶尙南道より數名の商人入込み畜牛購入に從事しつ〻ありて既に慶南梁山郡上西面李龍根なる名義にて車輦館驛より發送せるもの二百餘頭に及び更に南市批峴宜川の各牛市場に手を伸ばして良質牛の選擇に從事し買占めを行はんこする氣勢あり或は平北の牛價を攪亂し農民に對し重大なる苦痛を與へんこする傾向あり其筋にては目下嚴重警戒中なりこ（平壤）

○慘い殺し方
谷へ突落して
◇石で滅茶々々に慘殺◇
僅か百九圓が欲しさに

咸鏡南道豐山郡天南面億用里金一權（二三）は同郡里仁面院浦里金千秀が多額の金を所持せるより欺きて自分の持てる牛を賣るこ稱し同里德山麓の崖まで誘ひ出し不意に谷間に突き落し尙大なる岩石を投じて滅茶々々に慘殺し所持金百九圓を奪ひ取りたる事發覺し逮捕されたり（咸興）

日報俳壇
水無月吟社詠草（瑞興）

泳
空の碧力一ぱい泳ぐなり　春哉
泳ぎ疲れ見上ぐる空の碧さ哉　同
泳ぎ居る學徒に空は涯りなし　同
泳ぎ競ふ海の遙かに雲湧きたり　香仙
泳ぎ子が石置ける數の帽子哉　素人
泳ぎ寄る岸を翡翠掠め飛ぶ　喜岸
泳ぎ子をいたはり叱る母なりし　楓秋
泳ぎ止て汽車行く橋を見上げたり　悟山
叢に衣物脫ぎある泳ぎかな　紫花
兒等泳ぐ潦に影する營所哉　春草
學校の歸りを泳ぐ渡しかな　同
橋から飛んで皆安々こ泳ぎ　台翠
舟底を次々に泳ぎ拔ける也　同

瓜
步きつ〻馬夫が瓜喰ふ徑哉　香仙
つくばひて瓜食れる女哉　紫花
灯點して瓜賣るヨボや橋の上　悟山
鮮人の瓜喰ひ行くや驢馬の上　台翠
此處丈は涼しい風がある瓜小屋　春哉
井戶から揚た瓜の冷さ喜び合ひ　同

露
露に嘴濡らしこ漁る小鳥哉　悟山
千年の露が光れる朝日かな　同
葱引く袖にしごくや朝の露　同
朝露の叢にボール拾へり　僊王鬼
名殘り朝顏帶木の露に牛くる　同
顏を濡らし草の露嗅ぐ小犬哉　楓秋
芦の露に輝かな旭や渡し舟　喜岸
庭草を拔く袖濡れぬ朝の露　台翠
避雷針が旭に煌めく露しこ　春草
蟲こ葉末の露を吸ひ寄り　同
布を晒せる碑に白き夜露哉　同
酒幕出て驢馬嘶く露の徑哉　同

案山子
案山子ゆら〳〵夕霧を吸ひけり　僊王鬼
案山子の下に挨拶ねもごろ　同

黑山白水

大連埠頭の怪火は放火こは衆目の一致する處だ▲其の犯人が擧されぬこ云ふ處に怪火の怪が存して居る▲犯人は當分檢擧の見込が立たぬこ云ふので埠頭では更に監視を嚴重にするさうだ▲警察でもトテモこれは犯人が擧らぬこ匙を投げたら更に圖々しく成つてお終ひには犯人が擧るかも知れぬ▲何しても物騷千萬な事だ▲此の怪火は今度で十二回目だこもいふし十三回目だこもいふが▲其の內の一回は倉庫內の燐寸から發火したので野積大豆の火事は十二回目が本統だ▲しかし燐寸火事も原因が分らぬし犯人も擧らぬから怪火の內に數へても丁度かも知れぬ▲何れにしても數に不足は無いから十二回目でも十三回目でも大した相違は無い譯だ（大連）

▲新製品▼
附けて美しい
肌色の水白粉
■白色美顏水の姉妹品■

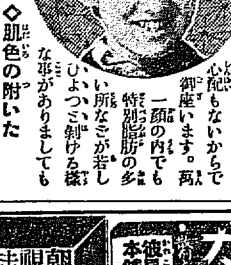
肌色美顏水

◇白い白粉より　は肌色を附けた白粉殊に水白粉の方が、ずつこお化粧美を現す場合が案外に多いもので現にお化粧上手こ言れる樣な方々の間には、餘程前から肌色の水白粉等が召されて居たもので御座います。それで近頃になりましては御婦人方は一般に其れをお要求なさる樣になりましたが、それは肌色のですこ、種々

◇都合のよい事　が御座いますからです。そこで桃谷研究試驗所では、豫てから高貴方の御用命によつてお納めして居りました肌色美顏水を、此程いよ〳〵一般に賣出す事に致しましたが、肌色美顏水は餘り

◇けば〳〵しい　お化粧でなく何處々々迄も自然らしいお化粧をお好みの方々には全くお誂へ通りで、殊に色の白い質でない方や、脂肪や吹出物が多くて白粉が附きにくく又剝け易い樣な方々には此上なく便利な品で御座います。何故こ申しますご肌色美顏水は桃谷研究試驗所で發見した

◇或る美容成分　こ二種特別の作用のある白粉こを元にして、其れに美しい軽い肌色を附けて製へた水白粉で御座いますから餘り態こらしいお化粧をお好みにならぬ方は申す迄もなく、肌理の荒い方やお化粧に馴れない方それから色の白くない質の方や脂肪ふき出物の多い方なごにも、誠に氣持よく



◇顏にしつくり　落附いて、生れつきの樣なシンからの白さに附き、顏の地の色ご白粉の色ごが別々になつて見苦しくなる心配もなくまた白粉くづれする心配もないからで御座います。萬一顏の內でも特別脂肪の多い所なごが若しひよつこ剝ける樣な事がありましても

◇肌色の附いた　水白粉ですから別に際立つ事もなく、何時までも高尚に美しい化粧美を現はしてるので御座います。一度お試しになれば、肌色美顏水がごんなに重寶なものであるか、何故發賣匆々大變に評判が好いのか自然にお解りになります。此新しい化粧料なら、皆樣の進步したお化粧のお考へに屹度ぴつたり適合致します事は責任を以て斷言致します。

■定價一瓶　金二十五錢■

謝近火御見舞　京城南山町三丁目電話六三八番　玉西洋料理　巴洲亭

謝近火御見舞　京城南山町三丁目　江川菓子舖

僅か二ケ月で卒業技術者　スグ就職　出來る　生活安全　高給　有　無資本開業　利益の工業技術を郵送で自宅獨習せしめ責任的就職指導す尙は本校卒業者によれば技術を以て腕次第月收五六十圓より百圓を得らる學力小學程度校則及見本を要する者は申込次第送呈　東京淺草瓦町　日本通信工科學校

せきずい　同病にて手足引ツリ腰足不隨脊筋痛みシビレ等に效能正しき藥あり二錢切手封入申込次第詳報　播磨國明石西魚町　元本家

完全なる專門のみ藥　常商會の發賣する肛門藥は大正五年五月二十四日附にて認可を得たる新製良藥にて肛門を害せず大小便に於て何なる永年の難病も全快するに於ては一日も早く御用ひあれ左の商會へ御注文あれば速に郵送致します

赤痢特効藥

ぢ　送金ス　七日分一圓二十錢

論より證據呑んで其効顯を味ひ給へぢの手術は肺病を來たす恐あり他の付藥、油藥、下劑等にあらずこれは又子孫に遺傳す　朝鮮總代理　本部　支店募集す　京城黃金町五六二番　肛門藥商會

面白い程よくなおる　かぜねつ　づつうに　カキヤミリン　彼是こ手遲せぬ樣直ぐ用ゐよ　本舖　名古屋　荒川長太郎

朝鮮總督府囑託　視從六位李熹珪病氣ノ處本日午後三時死去致候間此段謹告仕候
追テ本月二十日午前八時自宅出棺同九時於南大門停車場前永訣式執行可仕候
大正七年十一月十六日
嗣子　鴻求
親族總代　李範珪
友人總代　伯爵　李完用　子爵　閔丙奭　子爵　趙重應　鹽澤義夫

○風强かるべし

京城測候所にては十七日正午風强かるべしと發表…を以て颱風の狀況に依りては多少風强かるべく警戒を要すと

●十六日午後入港博愛丸二三等客（二百四十四名）[illegible]

汽車發着

京釜線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
湖南線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
京義線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]
兼二浦線 [illegible]
京元線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]
京仁線(仁川行) [illegible]

○安東驛の貨物

去る十月中に於ける安東驛の通過貨物狀況を聞くに輸出南滿線發院線着二千八百七噸、南滿線發局線着九百四十八噸合計三千七百五十五噸、輸入局線着南滿線發四千五百六十噸、院線發、南滿線着一千七百五十噸合計六千三百十二噸にして其の主なる品目數量は左の如し(單位噸)

輸出

南滿線發局線着
△獸骨一六△小豆一六〇△粟四八六△雜穀一五四△大豆三五一△穀粉七二一△豆粕八一噸△鹽二一〇△金屬器類三二四△鐵滓一六一

同南滿線發院線着
△獸骨三五△小豆一四一△粟一〇七△大豆一六一△蘇子一四△羊毛二四△木材九六△金屬器類二七

輸入局線發南滿線着
△鹽干魚八三△生果七五△和酒二四△味噌六九△醬油五五△古新聞一一△革及製品二〇△菓類一一二△米一二五△綿絲類四〇△木材八七八△鏡台八四〇六△木藥二八△雜貨品一六九四△漬物二〇△木炭六六△鑛滓三二

同院線發南滿線着
△麻製品二一△陶磁器五〇△綿布一八一△同四九二△食料罐詰三一△和酒一九二△ボール紙類二七九△其他紙六五△革其他製品四七△綿布一七△食料品四三△綿一六△織物一四△金物三五△時計二四△木製品一二△珈琲豆一六△自動車五一

○新義州雜俎

▲藤川長官出張 平安北道長官藤川利三郎氏は十五日夕新義州に來り同日午後七時五十四分發列車にて大邱に向ひたり

▲官有地拂下げ 新義州官有地の一回拂下の件に付十五日午後二時より石原府尹は現在借用者四十餘名を府廳に召集し種々協議する處ありたり

▲木材約八百車 新義州にある原木、鐵材は約八百車の見込みなるが近來貨車不足特別輸送等の關係にて一日の配車は五六車に過ぎず一般の木材商は非常に恐慌を來たし居れり

▲稅關支署公賣 新義州稅關支署に於ては來る二十二日午後三時より沒收品たる虎皮二枚、羊毛皮百三十五枚其他雜品を公賣處分に附すべしと

▲體操講習出席 九州大學教授明井醫學博士を講師とする體操講習會に平安北道よりの出席者は高松視學十八日より六日間京城へ新義州小學校阿部訓導、同普通學校平岡訓導を二十五日より三日間平壤へ出張せしむべしと

▲新義州母姉會 新義州小學校にては本月中家庭と學校との連絡を圖る爲め母姉會開催の筈なりしも目下惡性感冒流行に付暫時見合す事となりたりと

▲鴨鳴會俳句會 新義州の同好者を以て組織する鴨鳴會例會を十六日夜本町西條氏宅に開き即題碧水、濃霧、冬木立等あり非常の盛會なりしと

○安東縣近事

▲馬鎭守使來安 鳳凰城駐屯馬東遠鎭守使は十四日午後五時二十分着列車にて來安十五日方道尹の茶話會に臨み十七日頃歸任すべし

▲道尹結婚披露 東邊道尹方大英氏次男と某令孃結婚に付同道尹は十六日午前日支官民數十名を招待して盛んなる披露宴を張れり

▲支店開設披露 滿洲商業銀行奉天支店開業披露宴參列の爲め主人側として同行專務取締役藤平泰一取締役式村茂、同杉原佐一郎、監査役石崎久次郎、同平尾爲彥の五氏は十五日夜行にて奉天に赴けり

▲鎭江山の撒餠 鎭江山臨濟寺にては豫て本堂前階段の新設工事落成に付十七日午後盛大なる法要に次ぎ撒餠の式等ありたり

○奉天と人

▲吉田檢査役一行 日本銀行檢査役吉田銀三郎氏一行は先般來滿洲支金庫事務取調べの爲め來奉中の處十三日朝哈爾賓に向け出發

▲石原博士歸任 九日朝來奉したる旅順工科學堂教授石原博士は十二日朝歸任

▲石塚總裁一行 浦鹽より北滿方面視察旅行中の東拓總裁石塚英藏氏一行は目下吉林方面視察中なるが十四日朝來奉兩三日滯在の上大連經由青島へ向ふ豫定

▲吉野支店長 社用を帶び大連出張中の吉野東拓支店長は十四日朝歸奉の豫定

▲久保京管局長 京城管理局長久保要藏氏は事務打合せの爲め十三日朝奉天經由大連に向ふ

▲阪本金彌氏 代議士阪本金彌氏は從日來大連に滯在中の處十二日朝來奉し前十時四十分發京奉線列車にて北京に向け出發せり

○馬山通信

▲馬山東畜業務開始 東洋畜産株式會社にては今回會社成立と共に馬山にも事業を開始することゝなり社員松浦毅氏駐在員として來馬し東拓出張所内の一部を假用して事務を執りつゝあり尚ほ從來東拓にて經營せし耕牛貸付事業は同社へ讓り渡したりといふ

▲普校長會議及朝鮮語研究會 慶南道廳にて去十一日より管內の普通學校長會議を開催中なるが會議は三日間にして總督府より小河原視學出張終了後同校長に對し毎日五時間鮮語の講習を爲さしむる筈にて之が教師は道書記姜萬玉、崔斗澈、河東普通學校訓導金庚培の三氏なりと

▲咸鏡視察團來馬 咸鏡北道清津地方鮮人より成る八名の南鮮各地視察團は清津府書記引率の下に十一日來馬官民多數に出迎はれて舊馬山驛に下車一泊十二日重砲兵大隊馬山府廳及び市中各所を巡覽し一泊十三日大邱に向け出發せり同一行は最初五十餘名の筈なりしに

…減少したるなりといふ

○校長に感謝狀

◆十數年間勤續の校長◆

木浦學校組合にては木浦小學校開校二十年記念式に際し十數年間勤續せる同校長吉村貫之助氏に感謝狀を贈りたるが猶官民有志醵金して記念品を贈呈すべしと(木浦)

人參王

京城本町壹・電話 一四八〇番 一八七〇番

㋡ 津村兄弟商會

○罪何所にありや

商業道德の廢頽 在欽 一記者

歐洲戰亂突發以來物價の騰貴甚だしく殊に穀物の如き騰貴するかと思へば暴落し穀物商人は商略の安定を保つ能はざるに至れり安價の際に滿洲地商人は鮮地は勿論內地各地に多數の品物を豫約せるに車の不廻りの爲に十日延び二十日延びする内に騰貴を來せし場合あり此際に當り賣方は買方に向つて破約を申込み擦つた揉んだ濟せぬと悶着の上買方は僅な涙金を得て解決し賣方は數萬圓を儲け得たる例は各地に多々あり是れに反し近時の如き米價の漸落に當りては各地に買約束をなせるあり然るに船車の不廻りの爲に五日十日積出の出來ざる間に於て米價は益々下落し約定當時に比し石數圓の値開きを生ずるに至れり此度は買方より品物延着の理由の許に賣方に向つて破約を申込み賣買當事者の間に盛んに悶着の起りつゝあるは米價暴騰の際と同一なり且つ船車の不廻りにより斯かる問題の發動期を與へたるなりと云ふを得べしと雖も商業道德も斯く迄墮落して賣買の約を自前の利益の爲め不當破約するに至りては沙汰の限りと云ふべし

…ロップ あらしき 西洋菓子

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 安部修二

京城永樂町二丁目金光教會際 安部醫院 長電話四一九番

十一月十九日(火) 舊十月十六日

▲七赤▼ 南は吉北は凶ろし▲八白▼ 好き日なり穩かに物の運ぶべき日なれど邪心あるものは吉運を逸すべし▲九紫▼ 或は快よからざる事に遇ふやも知れざれど極めて吉き日なればソレを樂しみにして待つべし▲一白▼ 吉き日なり何に用ひてもよろし▲二黑▼ 吉き日にて何事にもスラ〱とゆくべき日なり▲三碧▼ 快ろよからざる日▲四綠▼ 不運の日▲五黃▼ 面白く愉快なる日にて何事に用ひてもよろし▲六白▼ 最も好き日なり健康さへ充分なれば愉快に一日を幸し得べし

老衰と奮鬪した 吾輩の經驗

諸君は余の風貌を見て、余が如何ばかり壯健にして、如何ばかり愉快に活動しつゝあるかを推知するに足るであらう。然り、余は頗る壯健である。當年八十六歳の老體でありながら、體重は二十貫を超え、白色に青春の如く鮮かに、頭腦は明晰なるを誇りとしてゐる。余が斯の如く壯健にして愉快なる活動を爲すを得るは何が故であらう。それは余が青年時代より藥用人參の服用を怠らなかつたが爲めに外ならぬ。

學者は科學的に人參の効果を證明す

藥用朝鮮人參は古來不老長壽の靈藥として重用されてゐたのであるが、明治維新後洋風醫學崇拜の熱が流行的に高潮し、漢藥を口にする者は頑迷思者として冷笑さるゝ樣になつたので、效能頗に優れたる藥用人參も、之等流行的思想に葬られて一時世上より忘らるゝに至つたのである。然るに最近獨人ラフィネスク氏を嚆矢として多くの學者の科學的研究が行はるゝに至つて之等學者によつて其効果を科學的に立證さるゝ樣になつたので、近來再び人參需用の聲が喧しくなつたのである。

不良人參と純良人參の撰擇を誤る勿れ

各學者の報告に依れば、各地に産する人參の內、朝鮮開城産のものが最も優れて居り、之の右に出づるものはないと言はれるるが、開城産人參の純良なるは頗る高價であつて、曾つて李完用伯の如きは一本三千圓を投じて購入したと言ふ程であるから、市場多くの人參製劑は窃かに他地産の不良人參を混入しつゝある者勘くない。星製藥株式會社の營資に係るホシ人參製劑は朝鮮總督府專門一宅博士が本場開城産の逸品中より更に優良なるもののみを撰擇し、絕對に他地產のものを混入せずして化學的に精製したものであるから、數ある人參製劑中最も優秀卓越せるものである。而してホシ人參製劑は精力を旺んにし、腦力を強め、血行を良し、

神經衰弱、ヒステリー、精力減退、貧血、
肺病、目暈、リウマチス、子宮病、神經痛、
營養不良、老衰、陰萎、腎臟炎、

等に用ゐて最も卓拔なる効能を有す。殊に血液の循環をよくするが故に常に血液を淸淨に、色白く生々とした顔色となし、記憶力を強め体量を增加する。

種類	効能は何れも同じ
ホシ人參丸	五十錢 一圓 二圓
ホシ人參錠	五十錢 一圓
ホシ人參末	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參エキス	五十錢 一圓 三圓 五圓
[illegible]	[illegible]
ホシ朝鮮人參(生)	一圓 二圓 五圓

ホシ人參製劑

東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社 電話京橋一七八五 振替東京二〇五二二

吾等は何を爲すべきや……と梅毒治療に多年苦しまるゝ諸士よ 來つて 下毒便通良劑 治疾丸 百毒下 を服め

本劑は諸士に全治の滿足と……喜悅とを……與へん!!!

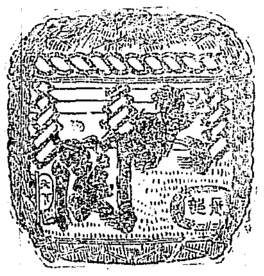
偽物あり商標に注意なさい

老若男女梅毒一切 ○下疳 ○横痃 ○淋病 ○痔 ○頭瘡 ○其他梅毒に依る諸々の病に良く効く

價金五十錢 金一圓 金二圓 金三圓 各地有名藥店に販賣す

本舗 伊勢四日市市 加藤翠松堂 振替東京三一七五 大阪一九四五

銘酒



金釜 銀釜 菊正宗 楠正宗

特約 京城支店 三巴 電話八五〇 三七 二〇

クセニナラズ 健通丸 よくつうじる

十日の便秘も一服で通じる其快さ!

本舗 大阪 合資會社 參天堂

勇ましき活動振り健實なる奮鬪!

諸君はこの元氣と健康を何によつて得らるゝか?

曰く 七大博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒 赤玉ポートワイン

特に斯の如き人は赤玉ポートワインを召上れ
食慾不進の人、ヒステリーの人、產前產後の人、神經衰弱の人、貧血の人、虛弱の人、精力衰退の人、病後の人
キット利目がある

京城日報

戰後の諸問題

京城日報

一

休戰條約既に成り、關係列邦は一方に於いて講和會議の準備に忙殺せらるゝと共に、他方に於いては戰後經濟方針に就き、苦心慘澹是れ日も足らざるの有樣に在り。前者は今回大戰の仕舞節にして、其の大切なるといふまでもなき次第なるが、然しながら其事たる元來一時的にして、且つ其の範圍に限りあるを以て、之を後者の永久にして且つ廣汎無涯なるに比すれば、自ら難易の別あるを知るべし。固より講和會議の完了し、世界が完全に戰時狀態を脱するには、猶多くの日子を費さざるを得ずと雖も、戰後に處するの問題は、極めて複雜廣汎なるが故に、講究に次ぐに施設を以てするには、寧ろ其時の短きを憂ふべきのみ。吾人の聞知する所を以てするに、列邦中には戰時倥偬の際に於いて、既に戰後の措置に着目し、概略の方針を定めたるもの、唯に一二邦に止らざるが如し。由來米人の多角形なる、唖務に通ずるもの少からずと雖も、世界未曾有の亂に處し、其國の全力を賭して戰爭に從事しながら、猶此の餘裕を存するに比すれば、戰禍より寧ろ戰福を受けたる我國民の、休戰實施の今日に於ても、戰後問題に對して、猶汗手たるの狀態なるは甚だ以て慚愧すべきの至りにあらずや。

二

戰後の經營に對する問題は、極めて複雜廣汎なりと雖も、之れを概括するときは以下の三項に歸すべし。即ち第一戰時に於て破壞され、又は一時の變化を餘儀なくせられたる、經濟組織の復舊、及び將來に對する方針の確定。第二輸出入貿易の變化に對するの用心。以上二項は是までとても屢々世論の題目に上りたるものなるが故に、今更めて贅言を附するの要なかるべし。第三勞働者救濟問題の解決。戰時中に於て俄然として膨脹したる勞働の需用は、平和克復と共に、其の一半は無用に歸すること明瞭にして、是等の失業者に對する措置が、一たび其宜しきを失ふときは、不測の禍害を醸すを免れず。是れ獨り政府當局のみならず、一般資本家が豫め適當の腹案を定め置かざるを得ざる所なりとす。殊に注意すべきは、今回の大戰を機として、勞働階級の間に不穩なる空氣の瀰漫せるは、各國共通の現象にして、露國の如きは第一に之が犧牲と爲り、目下獨逸も亦稍類似せる狀態を現はしつゝあるが如し。此の風潮の輸入は到底防止すべからざる所なるを以て、天の未だ陰雨せざるに及び、牖戸を綢繆するを以て、最も賢明なる措置なりとす。第四教育問題。是れ吾人の最も憂慮熟考せざるべからざる所にして、此事に就いては目下教育會議審議中に屬する國民思想統一問題につき、既に一再の意見を述べたるを以て、今之を省く。其他政治上、軍事上に關する諸問題に至りては、僕を易ふるも列擧し盡し難きも、是等は今之を敢てすべき時機にあらず。

三

吾人は以上の問題に就き適當の解決を望み、殊に直接朝鮮地方に關係して、將來の方針を確定するの必要あるを認め、普く各階級の意見を蒐集せんと欲す。江湖諸賢指教を吝むなくんば幸ひなり。

東京便り

(十一月十三日東京發)

◇時局は急轉直下の勢ひを以て講和の段取と相成候。本日の外交調査會は帝國の大綱を議定するに在り、未だ其の内容を詳にせざるも、結局の結論に到達せるは、疑ひを容るべからず候。

◇帝國は聯合國の一員なりと雖も、實際の關係區域は必ずしも廣汎なりと謂ふべからず、靑島及び南洋占領地を除し、西伯利の出兵と特殊關係とを欠位に數ふるに過ぎず候。勿論帝國海軍の一部は、遠く地中海に出動し、又米國と協定して太平洋全面の防護に任じたるが如き、固より勲功の一たるに相違無し、然れどもこは講和の實質的條件を出すべく、餘りに漠然たる問題也、故に帝國の講和條件は、以上の三點に關し、帝國の利益を擁護すれば足れりと信じ候。

◇吾人は今回の講和問題を案ずるに方り、重要なる二大要件を逸すべからず、聯合國の要求を悉く獨逸に承諾せしむる事其一也、日本帝國の志望を聯合與國をして完全に支持し認諾せしむる事其二也。而して今日吾人の確信する所に據へば、共に吾人をして[illegible]せしむるの樂觀を其の前途に見出し候。靑島及び南洋占領地の永久的保有に就ては、寺内内閣の初め、英佛伊諸國の完全なる諒解あり、露國も亦有力なる保證を與へたる次第に候。獨り米國の[illegible]表面必ずしも反對せず[illegible]すべき筋合にあらざるを信ぜんと欲し候。

◇若し夫れ西伯利の將來に至つては、其の解決を將來に讓るも可也、たゞ聯合國は帝國の殊勲に照らし特殊利益を承認するに吝ならざるを疑はず候。若し帝國の出兵無かりせば、極東の天地寞々たる戰雲の鎖す處となり、聯合國戰勝の價値を減殺したるやも未だ知るべからず、帝國の西伯利出兵は、大戰史上、特記すべき事實たらずんばあらず候。

◇帝國政府が講和大使特派の議を排し、英佛駐在の大使を之に任ぜるは、必ずしも至當なる措置にあらず、殊に珍田駐英大使に至つては、時局の劈初より歐洲の一隅に在り、獨り帝國の外交方針を詳にするのみならず、列強外交の表裏萬事に通曉し、必ずや闘外の重任を辱しめざる可く候。吾人は此際特に兩大使の自重加餐を望まずんばあらず。

◇若し夫れ歐洲の亂に至つては、帝國の關する所極めて微少也、世界の強大國が互に協定すべき[illegible]再發を豫防すべく、日本は歐洲の國土處分に容喙するの理由無く、たゞ主義に於て聯合國の[illegible]

◇所謂國際聯盟、海洋の自由、武力制限等の哲學的條件に至りては、之を講和會議の實際問題たらしむべく、餘りに學究的、思索的題目ならざるかを疑ふものに候。若し武力にして制限すべくんば、列強の富力をも制限し、領土をも制限し、國民の文化能率をも制限せざるべからざるにあらずや、所謂世界の永久的平和は、前記の要件に徹底せざる限り、之を待つ事困難也。國際聯盟、海洋自由の原則に至つても、攻究の餘地極めて大なるを覺ゆ候。

◇若し是等の哲學的題目が、果して講和會議の議題たらば、帝國は之に對して完全なる自由を保留せざるべからず、現代が如何に大國本位の世界なりと云へ、他國の國是を拘束し、民族の發展文化の向上を制限するの權力あるものにあらざれば也。吾人は先づ列強代表者の主張態度を見んと欲す。

◇最後に吾人は日本帝國の世界的地位に關し、重大なる注意を忘るべからず候。帝國の國是は依然何れに在りや。東洋の平和を確保し、世界人類の福利を増進せんが爲めに外ならず候。隨つて東洋の天地に禍亂の再現を許さず、[illegible]將來に堪ふべからざるものに候。吾人は今回の講和會議に際し、聯合各國の永久的平和を擁護し、協力を要求せずんばあるべからず候。

◇同時に聯盟各國も亦日本の特殊地位を承認せん事を要す。既に東洋の責任一に懸りて帝國双肩に在る以上、東洋問題の處分に際して永く帝國の發言權を尊重し、必要の措置を帝國の方策に一任せん事を要望せざる能はず候。既に帝國の義務を認むる以上、其の權利を認めずんばあるべからず、吾人は特に支那問題の將來に關し、豫め列國の諒解を請求せんと欲し候。

◇以上は無論記者一個の管見のみ、政府の方針とは何等の交渉無し。たゞ吾人は健全なる日本國民として、前記の趣旨を以て、今次の講和會議に臨まんと欲する迄に候。東洋に於ける帝國の特殊地位に至つては、政府に於て適當の宣傳を試み、以て内外人心を一新するも可也、依て以て一部人士の迷妄を一掃する事更に妙ならずんばあらず候。吾人は講和條件にも物質的と精神的の二方面あるを看取し、日本は精神的方面に於て東亞の支配者たる特權を主張し、世界の列強をして之を承認せしむる事極めて肝要也と信ずるものに候。

英米戰時教育(上)

米國遂に覇たり

文部省より戰時に於ける英、米、佛國の教育狀況視察の爲め派遣せられし前督學官乘杉嘉壽氏は最近歸朝し英、米に於ける戰時教育の概觀に就き左の如く語れり

△教育者の犧牲 戰時中英國の大都會を訪ねたる者は必ずダブリュー、テーの記章を附せる女子が巨大なる軍用自動車を運轉せるを目撃するならん是開戰丸四年國内の有らゆる壯丁は西部戰場は言ふまでもなく彼等の植民地に對しマンパワーの及ぶ限りを出征せしめつゝある爲め各方面に於て女子の勞力を借るゝに至りしが爲めなり危急存亡を賭しつゝある英國の教育者は彼等の肉體も彼等の精神も悉く戰爭の爲めに獻げざるもの之なし初等教育に就き見るに最初より少かりし男教員は愈々少く教室に稀に見る男教員は年の老いたるものたらざれば不具者なり中學校に就き見るに教員にして教職に從事せるは何れも一年乃至三年の戰役に服し歸休しつゝあるものなり如何に小なる中學校も其卒業者の一千乃至二千を失はざる者はなし而して中學校の教室と教會堂は悉く彼等戰死者の名譽ご誇りを掲げ置けり大學は男子の學生全く無しと云ふも過言にあらず多くは女子の學生なりケンブリッヂ及びオックスフォード大學の多くのカレッヂは或意味に於て全く他の行動に從事せり之等の大學は其校舍、器具、機械等を悉く擧げて以て陸海軍人を養成しつゝあり即ちケンブリッヂ大學は目下三千の學生に飛行機の操縦を授け大學の高空は常にプロペラーの音響を絶たず要するに大學は文部省の手を離れて陸海軍省の手に入りし也

△米國の緊張 英に於ける此戰時的緊張氣分は全部米國に適用し得べし米國のハーバート大學にせよコロンビア大學にせよ三千乃至四千の學生は悉く軍隊的訓練を與へられつゝあり即ちよりよき軍人を養へり殊に工學、機械の學生は最も重大なる任務を遂行しつゝあり斯る重大の時機に日本の留學生に對する普通の講義は真平なりと大學當事者より拒絶せらるゝ者さへ尠からず學校は軍事教育を與ふる場所と急變せるも政府が人物の使用に萬遺漏なき其注意と態度は驚嘆の外なし學校の物理化學教師は政府より種々の註文を發せられて理化學の研究に從事せり心理學者は飛行機搭乘者の適者なりや否や及び飛行術の心理學的研究を行ひつゝあり要するに英國も米國も學者の知識は全く動員せられたるものなり(東京)

邂逅

佐々木峰雪

五十二 驚愕

自動車の停まるを待つて飛び降りた男があつた。妻ひに駆つた其顔、それは庄左衛門であつた。急報によつて駈け付たのである。

『坊がよく無いさうぢやが、甚う惡いか』

庄左衛門は嗄れ聲で云つた。

『お旦那様、誠にはやお氣の毒なことでござりまする』

『うむ、すりや餘程惡い容子か』

『それがその途法も無いことになりまして』と吉兵衛は湧いて流れる涙を、枯木のやうな手の甲で拂つて『誠にどうもお氣の毒で、爺はもう此通りでござりまする』

『お、其容子ぢや餘程惡いらしい、ごれ坊は何處に居るのぢや』

『……』と吉兵衛は無言であつた。

『坊は何處ぢや』と庄左衛門は氣が氣で無らしう遽を見廻した。

『兄上』と庄五郎ははじめて顔を上げて『坊はもう駄目です』と覗上げた眼には一杯の涙が光つて居た。

『駄目』と眉を寄せて『駄目とは何うしたと云ふのぢや』

『さそれが』と庄五郎は云ひ淀んで『兄上坊の病は普通の病ぢや無いさうです』

『なに普通の病ぢや無い』と庄左衛門の眼は俄に光つた。

『さうです、病氣なら如何に猛烈でも醫藥で治るさうですが、坊のは病氣ぢや無いから到底も駄目ださうです』

『ぢや何處からでも落ちて怪我でもしたか』斯う云ふ庄左衛門の眼は次第に潤み、息は刻々機んで來た。

『なに兄上、傷なら手當次第で治るだらうが、坊のはもう死を待つより外は無い』

庄五郎は力無く斯う云つて、被せてあつた毛布を取つて除け『兄上坊はこんなになつたんです、もう殆んど死んで居ます』再び見ようともせず庄五郎は面を掩ふた。

『や、これは』と庄左衛門は思はず叫んで、庄造の身體に確と抱付いた。顔は何[illegible]のやうになつて、それに淡い[illegible]色の斑點が顯はれて苦しさうな息がぜい／＼と氣管を掻くやうに續けられて居た。

『坊、お父さんぢや、離乎爲、離乎爲坊』と狂氣のやうに呼び立てたが、それに對する應へは無し、身體一つさへ動かさなかつた。只氣管を引掻くやうな息が苦しさうに聞えた。

『お旦那様、お旦那様は人の心は恐ろしい物でごわりまする、誰はもうお生れになつてから以來といふもの、一日もお側を離れた事とては無かつたに、今日こんな變り果てた死に様をなさらうと思ふちや堪りませなんだ、それも生みの親御の手にかゝつて、惨んな[illegible]しい死に様をなさらうた、今が今迄夢にも何にも思ひませなんだ、ほんに／＼親子とは云へ、憎らしい鬼見たいな奥様でごわりまする』

『なに生みの親の手に懸つた』と不審らしう、半ば咎めるやうに吉兵衛の顔を覗き込んで『ぢや染が坊をごうかしたといふのか』

『それがお旦那様は御存じでごわりませんのかや』

『うむ染がごうした』と膝行寄つて

『其實は、その……』と吉兵衛は流石に云ひ淀んだ、それと口へは出さぬが、腹の中の腹立たしさがあり／＼と眉や目尻に顯はれて出た。庄左衛門は半ば庄造に氣を取られながらも、それが聞かうと氣を急いた。

『これ爺、無言ぢや分からぬ、染がごうかしたと云ふのか』と突くやうに迫つた。

『兄上』と頭り上げて『坊はこれで死んだんです、義姉上の手からお里の手を經て來た二人にやれとお里の手を經て來た此菓子で……』と庄五郎は傍の菓子の缺片を指した。

『や、それぢやそれ菓子ぢやな』庄左衛門はぶる／＼と身慄ひした。

在庫品案内

一、ターボゼネレーター 中古
エシヤウイス千五百キロ A.R.G 貳基
ウエステイング五百キロ 貳基
エシヤウイス八百キロ 壹基

一、水管式汽鑵 新及中古
バブコツク 四百五拾馬力 四基
同 參百八拾馬力 參基
同 參百馬力 貳基
同 貳百七拾馬力 貳基
バブコツク型 參百馬力 貳基
ハイネ(新) 參百貳拾馬力 貳基
同 參百馬力 貳基
同 貳百七拾馬力 四基
スターリング 百貳拾馬力 壹基
ロバート 參百馬力 壹基

一、各種汽鑵
ランカシヤ 六尺五寸×長二十六尺 壹基
舶用 拾貳尺×拾壹尺 貳基
コルニシユ式五尺×廿四尺 壹基
同 五尺五寸×貳拾尺 壹基
同 五尺×拾六尺 壹基
同 四尺五寸×拾貳尺 壹基
同 三尺七寸×拾六尺 壹基
多管式 七呎一吋×拾九呎八吋 貳基
同 三尺五寸×拾尺 貳基
同 三尺×拾尺 壹基

一、發電機及電動機 新及中古
參百馬力 交流電動機 四基
二百五拾馬力 同 新 壹基
二百馬力 同 參基
百七拾五馬力 同 貳基
百五拾馬力 同 新 壹基
百馬力 同 新 貳基
六拾馬力 同 壹基
四百キロ 直流發電機 壹基
一百五拾キロ 直流發電機 貳基
貳百キロ 同 壹基
百廿五キロ 同 壹基
百キロ 同 壹基

一、諸機械 新及中古
グリーンエコノマイザー 一六八本モノ 壹組
給水喞筒 九吋×六吋×十二吋 參ケ
同 五吋半×四吋四分一×六吋 貳ケ
變壓器 千八百キロ三相ノモノ 貳ケ
同 貳百キロ三相用 壹ケ
同 參拾參キロ單相用 七ケ
同 七、五キロ三相用 壹ケ
同 百七拾五キロ單相 四ケ
變壓器 三百キロ單相用 六ケ
ロータリーポンプ電動機付十二吋用 參ケ
廿五噸ハンドトラベリングクレーン 壹ケ
舶來一噸半スティムハンマー(新) 壹基
二百五拾馬力 エンジン 壹基
六拾馬力 竪型エンジン 壹基
貳拾五馬力 横置エンジン 壹基
貳拾馬力 同 エンジン 壹基
十二人乘ヲチツスエレベーター 壹基
捲揚機 八吋半×拾貳吋 參基
舶用六馬力 石油發動機 壹基
同貳拾馬力 吸入瓦斯發動機 壹基
同二拾五馬力 同 壹基

一、煙突
徑九呎耐震長百五十呎 壹本
徑尺二寸長七十五尺 四本
徑三尺耐震煙突七十五尺 壹本

一、鋼材
ハンマードロール
シヤフト用徑三吋乃至八吋迄約貳百噸
一、徑四吋引拔 鋼管九千尺

其他給水喞筒各種持合有之候間御用命仰付被下度此段謹告仕候

東亞貿易合名會社

營業所 京橋區南紺屋町 電話京橋(特長)三二二三番 四三〇五番 倉庫 深川區富川町三番地(電話本所)三九四番
橫濱出張所 横濱市本町六丁目 電話本局四一七

◇獨逸共和國宣言

チューリッヒ來電に依れば獨逸は共和國たる事を宣言せり(巴里電報)

◇獨逸新內閣顏觸

獨逸新內閣は次の顏觸にて組織されたり(コッペンハーゲン電報)
首相兼內務陸軍エーベルト、外務ハーゼ、財政拓殖シャイデマン、交通司法ヂットマン、文部ランズベルヒ、社會政策バルト

◇伊太利皇帝還御

伊太利皇帝は羅馬に還御せられたり市民の熱喜は其極に達し幾多の行列催されつゝあり(羅馬電報)

◇英艦隊休戰祝賀

蘇格蘭海岸沖にて三十哩の線に亘り假泊せる英國艦隊は十五日夜一齊にイルミネーションを點じ探海燈を照し休戰祝賀の意を表し壯觀を極めたり(倫敦電報)

◇米產業組織整理

米國の產業を戰時組織より平和組織に移し國家的整理を行はんとする最初の手段として戰時產業局は戰爭に關係なき產業に加へたる制限の五割を增加製造する事を許せり(華盛頓電報)

◇南北和平問題提議

十五日午前十時總統府にて督軍會議を開けり列席者は曹錕氏以下各督軍代表者國務員等三十三名にて總理錢能訓氏より歐洲平和會議に對する支那の立場の困難なるを述べ徐總統より此際舉國一致を要するに依り各督軍より外交に關する意見書を提出し將來に備へん事を諭告し次いで錢總理は南北平和問題を提議し政府の接手せる報道に依れば各省督軍平和を望の誠意あり統一を計るには武力統一も其の一手段には相違なきも平和解決を爲し得れば之れに越したる事なし今や其機熟せりと信ずるを以て政府は平和手段を取るに決せりと述べ列席各員賛成したり(北京特電)

◇支那停戰命令發布

十六日大總統令を以て停戰命令發布されたり其の內容は外交關係上內政統一の急を要する事國內皆平和を希望する事西南首領屢々平和の具體的商議を求め來れる事財政上の關係にて停戰の止む可からざる事等を說きたるものなり(北京特電)

◇徐總統撤兵命令

徐總統は十七日湖南にある北方出征軍隊全部撤退の命令發布の筈なり同命令は撤兵なるを以て停戰に比し更に一步を進め南北平和的解決に資する所以なる可し(北京特電)

◇高山司令官

高山獨立守備隊司令官は隨時檢閱の爲め十八日午後五時半著列車にて遼陽より來奉二泊の上安東縣方面に向ふ筈なり(奉天特電)

◇阪西少將通過

阪西陸軍少將は赴任の途次十七日午後六時半著奉直に北京に向へり(奉天特電)

◇石塚東拓總裁

石塚東拓總裁は十八日午前九時五分發大連經由青島に向ふ筈(奉天特電)

◎支那に對する根本政策
公明正大なれ

近く赴任の途に就くべき小幡新任駐支公使の談に曰く(東京)

▲支那の主權尊重　從來日支間の交涉問題の起るや時として日本側にて支那人の感情を無視して行動したるが如き事之なきに非ざるが斯の如き態度は結局支那人の感情を害するに止らず日支提携東洋平和の大目的を達成する上に一大障害を爲す者なれば今後は如何なる事件勃發するも双方共冷靜に其事件の內容經過を考へ是は是とし非は非とし苟くも我方の論據が正々堂々俯仰天地に恥ざる底の者ならんには飽迄之が達成に努めざる可らざるも其反對に支那側に理由ある事柄なるに於ては虛心坦懷其主張を尊重するの雅量と誠意とを有せざる可らず倘彼に事件勃發の場合に限らず平常と雖も支那及び支那人に對しては常に公明正大の態度を取り其の主權は飽迄之を尊重し且對等國としての禮遇を與ふるに努めざる可からず

▲列國共同一致　又支那には第三國の利害關係頗る錯綜せるものあるを以て我國は此點にも能く留意し苟くも上記の對支根本觀念に悖らざる限り第三國人の既得權を尊重すると共に借款其他の問題に關しては特に如上の趣旨に遵據して進退行動するを心掛ざるべからず

▲支那の統一希望　次に支那の統一は隣國たる我國の最も必要とする所にして速かにこれが完成を希望せざるを得ざるが故に此趣旨を支那に徹底せしむることは至當なるべし雖も之れが遂行を期するに熱心の餘り特に干涉に等しき又は之れに類する行動を取ることは絕對に之を避けざるべからず即ち支那の統一は支那人自らをして之れを行はしめざるべからず蓋し是れ支那の主權を尊重する所以なると同時に無用の干涉は結局支那人の希望せざる所なるを以てなり幸ひ南北の融和は事實に現はれ支那人自ら妥協統一を圖りつゝあるが如し是れ吾人の衷心より喜ぶ所にして一日も速かに吾人は隣國として統一したる支那の現出を渴望して已まざる次第なり以上述ぶる所は吾人の從來より抱懷する對支根本意見なるが大體斯かる趣旨を目標として責務の任務を遂行せんと欲す

◎戰後の製鐵業
救濟策如何

▲本邦製鐵業　の勃興は全く時局以來の事にして其戰後に於ける消長如何は頗る大問題たるを失はず蓋し其勃興たるや海外よりの供給杜絕、從つて市價の大暴騰を告げたるに依るものにして一朝平和克復し外品の輸入自由となるに於ては今日の狀態を以てして到底存立する能はず即ち之が生產費たるや外國と比較し著しく高價にして現在にては何としても噸當り百三十圓乃至百五十圓を要する有樣にて若し之が二百圓見當を維持するに於ては兎に角存立を全うするを得可しと雖も之以下に下る場合は自然經營困難に陷るものなしとせず、翻つて戰後に於ける鐵の需給關係を察するに英國の如き自國の產業及び軍備等の復舊に對し多大の鐵材を要するを以て之を各國に供給する迄の餘裕なかる可く其佛獨逸の如きもアルサス、ローレンを失ふに於ては戰前の如き製鐵國たるを得るや否や甚だ疑問なるも獨り米國のみは

▲戰時中激增　を告げたる大生產力を擁し世界に向つて大に供給國の地位に立てり而して一方各交戰諸國が戰後に於ける軍備若しくは產業の回復、特に其生存を全うせんが爲めに大々的に產業力の回復に努む可きを以て之に要するもの著しく多額に上る可く、又米國も屢々之れに援助を與ふるの鮮明をなし居り勞米國鐵材は當分我國に投賣り等を試むる事なかるべし仍つて茲一兩年は或は本邦製鐵業を脅かすが如き事なかる可く一朝米國品が我市場を壓迫し來るに於ては到底之と競爭する能はず、併しながら製鐵業の存立は國家存立上極めて重要の事なれば此機に於て何としても其存立を全からしめざる可からざると同時に、之を自然に放任せんか必ずや經營難に陷り事業休止の已むなきに至る事何人も疑はざる處なり即ち戰後の製鐵業を如何にす可きかは官民共に一日も等閑に附する能はざる重大問題なり而して其救濟策は

▲關稅引上げ　に依るか若くは補助金を與ふるかの二途ありて其何れを採用するかは大いに問題なり、即ち若し關稅政策に依る時は國內の鐵價諸外國に比し高價となり自然船舶、機械等の生產費膨脹を免かれず其結果世界競爭裡に於いて本邦のみ獨り不利の地位に立ち、其海運及び產業上に及ぼす影響大なる可く仍つて關稅策の適用は大いに研究を要する所なり、然らば補助策に依るか、之れ又國庫の負擔を免かれざる可く其の一長一短は到底避け難き所なり、併しながら其發展は國家存立の上に多大の關係を有する以上何こしても助成策を講ずるの必要あるは異論なき所にて從つて多少の犧牲を拂ふとするも一般經濟界に惡影響なき補助金交附の方法を採用する事或は當を得たる策ならんか、更に當業者としては此際力めて生產費の節減を研究し一朝競爭場裡に立つ場合、成る可く有利の地位を占むると同時に一日も早く獨立的地步を築く事最も必要の事なる可し(某氏談)

◎副業生產と產業地方的對立

道同京城商業會議所の企圖せる朝鮮產業利源調査に就て聊か面白き注意を惹けるは朝鮮が副業生產地となりつゝあることこれなり其の意は朝鮮は農業中特に米豆の耕作を本とし其の他一切の產業を

▲副業として獎勵　しつゝあるにあり此事たる日常世人の目擊する所にして敢て新なる事實に非ざれども此際特に所感なきを得ざるものあり蓋し朝鮮は農地原料供給地たる運命を暫く脫却する能はざる以上米豆の生產に全力を注ぎ尙ほ餘力あらば副業を獎勵すべきは明白なる理路なりと雖も其間に一定の程度あることを認めざるを得ず例へば本年問題となれる薪炭の如き從業者が副業として之を爲すが故に生ずる障碍の少からざるは等しく

▲世人の實驗　せし所なり又製紙業の如き織物業の如き之を副業とするが故に製品統一せず技術進步せず販路の擴張も亦從つて思はしからざる結果に陷れること亦否むべからず內地に於ける長野縣の如き住民の大部分が養蠶製絲を專業として始めて偉大なる發展を遂げたるに顧み朝鮮の養蠶も副業のみとせず之に最も適當せる郡道をして專業として之を獎勵するは即ち朝鮮生絲、朝鮮錦綿の聲價を舉ぐる所以たらずんば非ず現今の副業獎勵は

▲將來長く推獎　すべき政策なれども其の間に尙地方的特長を認め之を利用し之を獎勵して地方的分業の對立を可とする所なきか本來經濟の純理論に於へば其地方に於て最も有利なる產業を撰擇して之に資本及び勞力を集中せしめ所謂勞働の分配、產業の對立を實現せしむること得策にして特に朝鮮の如く資金缺乏せる地域に內地の資本を流入せしむる方便なりとせん自給自作の如きは政策的見地を去りて考ふれば殆んど價値なきものなれども苟くも國益及び郡益として自給自作の方針を樹つる以上は其の方針の實現に努むべきは勿論なれども其間に右

▲純理論の教　ゆる所を加味する必要あるを感ず故に副業生產主義は專門的職業の發達を妨げざる程度に止めざるべからず而して現在は餘りに各種多樣の副業を同時に推獎し過ぐるを憂ふるものなり或は纖維の製造或は養蠶或は藁細物或は畜牛畜馬恐く是は是なりと雖も耕作にすら餘裕を有せざる朝鮮農民が果して能く同時に此等の副業の經營に堪へ得るや第一彼等の體力に疑ひなき能はざる也斯くの如きは勿論机上忘想に過ぎず現然を實見せば必ず釋然たるものあるべし

◎西伯利亞の治安
皇軍出動と露人の感謝
大田鮮銀理事談

チタが過激派軍に掠奪を逞しくされしは八月の廿八日であつたが隨分亂暴な强盜を受けたらしく幾多の物語りが尙新に傳へられてゐる

▲中央銀行　のチタ支店の如き多くの金塊、銀塊を掠奪されしは勿論の事銀行の支配人は過激派の來襲と聞いて未發行の紙幣の束に盛んに穴を穿つて使へなくしたけれど遂に全部を廢物となし得ざる內にその魔の手が延びたと云ふ、今も尙ほ支配人の穿つた穴を有する廢紙幣がチタに散らばつてゐる、その後チェック軍が來て虎狼の如き過激派を擊攘し更に車並にセミヨノフ軍のチタ入こなり秩序も整つて來たけれど頭領セミヨノフの叢望を蒐め居れるに反し、其部下の中には隨分過激派然たる者もあるらしく到る所その暴行は演ぜられてゐるやうに聞いた

▲皇軍の儼乎　として唯その大つぴらこならぬのは踐まれる故であらう、有識露人間に於て日本出兵を歡迎喜悅してゐるのは故なしと云ふべからず西伯利の治安保持上に於ける功果は偉大なものがある序にセミヨノフは成吉思汗の再生を以て自ら任じ各地共渴くが如き人氣に迎へられてゐる、其鐵路往來するや特別の贏丈な列車に露人三四こもに同車して車上に大きく頭領こ云ふ字を表示してゐる、正に東洋流の豪傑である、西伯利は寒い/\こ云はれてゐるが予の旅行中は例年に比し內外で

▲零下十八度　あつた、乃ち攝氏で零下十度そこ/\である、大に風が存外少いから思つたより凌ぎよききやの感がある、休戰條約の調印は長春に來て新聞を讀みて初めて知つた、從つて其影響がいかにハルピン方面に及び又西伯利亞に北滿の邦人や露支人が如何なる感じを以て迎へてゐるか等は全く分らない、西伯利

▲出征部隊　の一部凱還は既に開始された事と思ふが凱還部隊は重砲兵隊や衞生兵等のやうの噂であつた

◎間島輸入官鹽

間島消費の支那官鹽は山東省より浦鹽斯德に輸送荷揚し再び露領ポセットに移送輾轉を經て輸入するを以て價額の騰上を免れず目下市場小賣相場は殆んど一斤十錢こいふ高値にあるが故に自然鮮鹽より密輸入頻繁となり殊に結氷期は特に便なるより奈何に支那官憲之を防遏せんとするも得ず然るに陶延吉鹽運局長は輸入徑路變更を提げ先月來出張中なりしが其結果として滿鐵を利用し會寧經由間島に輸入する新徑路を執るに決定し近く始めの筈にて是により官鹽相場は從前に比し幾分低減せらるべきも鮮鹽の密輸を絕たずば間島の商人を俟つに比すべく國境に於る此種の密輸に就ては支那官憲に於て更に何等かの緩和策を取るにあらざれば到底効果を期するに難かるべし

◎黑井中將通過　旅順要港部司令官海軍中將黑井悌次郎氏は赴任の途次十七日午後九時三十分南大門驛通過北行せり

◎關屋局長歸京　關屋學務局長は慶尙北道管內へ出張中の處十七日午後九時三十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎吉武工學博士　東京高等工業學校教授工學博士吉武榮之進氏は滿鮮湖南方面の視察を終り十七日午後九時卅分南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルへ投宿せり

◎櫻井醫學博士　九州帝國大學醫科大學教授醫學博士櫻井恒次郎氏は南大門小學校に於る臨時學校衞生講演會講師として十七日午後九時三十分南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルへ投宿せり

◎藤川平北道長官入京　平安北道長官藤川利三郎氏は大邱に於ける共進會視察中の處十七日午後九時三十分南大門驛著列車にて入京天眞樓旅館に投宿せるが二三日滯京の上任地に赴任の筈なり

◎滿蒙毛織株公募延期　滿蒙毛織株の公募は十八日までなりしも十九日までに延期したり

人事消息

▲今野與一氏(全北日々新聞社長)同上十七日夜入京御成旅館へ
▲志田泉次郎氏(鈴木商店々員)同上
▲山本好造氏(殖銀元山支店長)十六日來京
▲石川清次氏(鮮銀會寧支店長)同上
▲櫻井永助氏(鮮銀元山支店長)十八日朝退京歸任の筈

鳥瞰錄

松崎遞信局事務官は朝鮮郵船の經營狀態を『老人のテニス然ですよ』と云つてゐる▲妙な譬喩だと思つてその譯を聞くと事務官曰く『つまり海運界は戰時並に戰後に於て大いに活動すべき機會に逢着してゐる▲朝鮮郵船も船を大いに傭船し各地との間に航路を開き手一ぱい活動したいのだが惜らうに船はなし、あつても寄りつけぬ程高い▲會社の持船は命令に縛られてゐる、つまり老人のテニスのやうに氣は大いにあせつてもラケットと身體が動かぬ如く朝郵經營も六ケしいと云ふ譯ですよ』と▲松崎君はよく肥つてゐるので運動旁成るべく徒步主義をとつてゐるさうな▲交通課長は十六日と十七日を又復三度目の風邪で寢た▲今回の風邪を二度繰返したものは多いけれど君のやうに御念入りに三度もやつたのは先づ稀だらうとは局內の評判である▲風邪の引じまひと云ふものが出來るならば君は既に此冬の免疫者になつたであらう▲和田理財課長は土地調査の總務課長として終末賞與を一萬千圓も頂戴するやうに噂されたが事實は四千圓に過ぎなかつたさうですね』と聞くと『僕等は金を持つても飲んだりして終ふから多く貰はん方がのみ方が少くて好い』と云つたとか▲序に同局員中の某々が頭は辭めて內地に歸つた中田前測地課長で其額四千九百圓だつた

秋日遊山寺次枕石道人之韻　水原　朴承九

百丈丹崖一院深。盤松矯々竹森々。騷客停車衙語節。山僧奕客鶴鳴沈。蒲團趺坐經行榻。桂子天香伴偈吟。呑水牯牛如入定。石頭高枕見天心。

前半佳詩、後半是詩是偈、可解不可解。

同　水原　華麓生

偶到寺門洞壑深。天風颯々柏森々。日斜山寺鳥聲闃。楓落石潭鶴氣沈。一朵黃花和酒飲。千林秋景入詩吟。半生華跡吾身老。更過高僧問道心。

畫調悠揚、押韻妥帖、可謂老手。枕石道人妄批

◎米國財界支配

二十九億弗內公債大藏省證券等募償金純收納額百七十六億弗租稅[illegible]
上は今尙支出未濟に屬し又一九一四年八月開戰の際は米國の對外債[illegible]
戰後歐洲より米國貨物需要は引續き莫大にして米國の輸出超過は毎年十億弗乃至十五億弗に達す可け[illegible]
分困難なるべければ右對外貸付は自然生ずべし且つ對歐洲勘定にて[illegible]

◎海運益々軟弱

六十錢室蘭渡十圓六十錢大連積出[illegible]一圓五十錢九州香港石炭十五圓五十錢見當に保合ひ[illegible]
滿了を機會として返還せらる可しとの說は市場に喧傳せられ一時頗る[illegible]の有樣なりしが現在提供船[illegible]
先安氣配に支配せられ居る事とて米國提供船の繼續も一向

▲市場は好影響　なきに[illegible]が既に休戰となり講和成立の日は更に角漸々接近しつゝあるは事實にして[illegible]

◎落てる金を拾はんか　女や小供老人でもスグ其日から金になる思ひも寄らぬ大金儲
野生藥草發見
採收新事業教授
無資本多大收益請合
需要無限一人でも百圓千圓を得る事は難事でない他の類似事業の如き一年二年後でなければ金にならぬ迂遠ありふれた營業と全く違ふ目下藥價暴騰世界的巨利を獨占するは今也何の面倒はいらぬハガキで東京市牛込通寺町廿二東洋藥草園へ申込めば發見採收法・販賣取引法・利益計算方法等詳細案內無料教授

謹近火御見舞
京城本町一丁目　京城醫院

私儀
永らく熊平支店に勤務罷在候處老軀激務に堪へず家事上の都合も有之今回辭任仕り候就ては辱知各位に一々御挨拶申上べき筈の處匆々の際御挨拶漏れも有之べくと存じ乍略儀以紙上永年御引立の御禮申上候尙今後も倍舊の御交誼希上奉り候
熊平支店主任　杉田久吉

日用雜貨類各製造業者聯合直卸始
特約店
各地に設置時價の半値乃至三分の一にて日用品を供給す此方面人活躍の好機來る返券入照會次第案內書呈す數萬種日用雜貨製造原價直卸
東京本鄉湯島六の十　日用雜貨製造組合　株式會社

京日案內
▲市內申込後途中中止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に優遇割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
普通七十字一回前金　番外一回前金

番外
代診生及看護婦至急採用希望の方は自筆履歷書携帶來談有之度し
京城府明治町二の七七　電話三七八　中島小兒科醫院

◎藥店　至急格安譲る　(姓名在社)

毛皮なめし並ニ仕立
鳥獸剝製標本類調製鳥類手羽買入
毛皮鳥毛剝製貿易商
京城本町二　電話長二〇六五番　商行

恩給立替
御依頼は迅速引換に地方は規定郵送す電話三〇〇
京城府若草町　郵便ポスト前入　西村商會

獵犬牝
ポインタ種三歲白に茶の斑點尾しあり身長二尺高一尺五寸大名ミル御連絡の方御拾禮
京城　瀧川銃砲店

▼廉賣　木炭(佳炭白炭)
德用品あり　電話二九一四
共榮商會

辯護士　岩田仙宗
左の處に移轉す
三角町七八商業銀行橫へ入り裏　電話三五四番

紳士淑女用
日本一の
月印羽織紐
京城明治町
尾琴屋
電話一三五九番

店仕舞大賣出し
謹啓
向寒之候益御清安之段奉欣賀候陳者小店儀營業開始以來大方の御深甚なる御眷顧御引ッに依り今日に立ち至り申候段日夜感銘に存じ厚く奉鳴謝候然るに今回都合により從來の吳服店を廢業するに意を決し申候就ては本月十七日より店仕舞の爲め大々的安價を以て大賣出しを開催仕候間何卒御來店被成下度奉願上候也
京城明治町
唐川吳服店

Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
百錠金壹圓　說明書進呈ス　各藥舖ニ有リ
東京室町　三共株式會社

品質
銘酒瓶詰之一大權威

第一
全道各地之需要激增
大阪府堺市
宅合名會社
攝津灘工場吟釀

七十億弗米國政府總歳入百四十三億弗之に對する歳入收納額二百[illegible]前一年の總額約十億弗に比すれば其九倍に當る參戰後の歳出許可總額は五百億弗に達せしも其半額以[illegible]合計九十億弗の對外債權を有するに至り其利息毎年四五億弗に達す從つて米國人中歐洲の債務のため[illegible]すべきを得るに至れり但し歐洲諸國は上記利息並に貿易差額を正貨又は他の債權にて決濟すること當[illegible]の財界を[illegible]あり（在紐育[illegible]通信＝東京）

▲稍々落付狀態を呈せり即ち近海航路は門司積石炭十圓[illegible]十五萬噸の外更に十五萬噸新規[illegible]渉あるやに傳ふる者及び社外船主の提供せる客船は今回傭船期間[illegible]州新造被石炭一噸[illegible]十錢北米内地鐵材三十五[illegible]市場は假令月先急激なる變化なし[illegible]然に崩れの形勢に在り從つて商賈[illegible]に保合へり而して傭船界は既に[illegible]ごするも前界好況の根底たる戰爭[illegible]

◎鬼怒川を徒涉して 猛烈なる追擊戰

マルヌ河戰に髣髴たりし其日よ
關東大平野特別大演習第三日

宇都宮方面に南下し來れる白井師團を合せ勢ひ頓に優勢となれる東軍は茲に有利なる外線包圍陣形を作るを得師團は前面の敵山田枝隊を擊破して壬生に進み午前八時徒涉し敵側の脅威に任じ軍の右翼第二師團は十四師團の退却を急追して小栗、矢田貝並に結城の南方に進出せんとし近衞師團は第一師團を壓迫して下館を過ぎ結城に向ひ十五師團は十三師團を猛擊して下妻を經て結城を指し是に對し西軍各師團は敵の急追を避けつゝ▲鬼怒川を渡り其の橋梁を悉く破壞して敵の進出を阻止せり。陛下が御野立所に著御あらせられし時は東軍近衞師團は第一師團の破壞せる勇山渡河點を渡らんとせる時にして其工兵は水深六尺の河中に投じて橋梁を修築して軍の前進を助け結城町に進出せり斯くて西軍は結城北方の思川の線により後衞は善戰頗る努め豫定の如く主力を夕刻までに栃木町東方に退却集結せしむるを得たり此日の戰鬪は獨軍が第五次の攻擊に際しマルヌ河の線に進出せる獨軍の一部と東軍の戰鬪は頗る酷似し西軍の退却は當時の聯合軍に髣髴たり（宇都宮電報）

□大元帥陛下 御統監

東京還幸は十九日ならん

大元帥陛下には十七日午前五時半大本營御出門同六時栃木町東方舘本山なる御野立所に御馬を進ませられ演習御統監同七時半大本營に還幸遊ばされたり尚十八日午前閲兵式を宇都宮練兵場に行はせられ午後御賜餐十九日午前八時半大本營御發輦同十一時東京へ還幸あらせらるゝ御豫定に拜承す（宇都宮電報）

▼戰鬪中止の命下る

特別大演習の終了
興味多かりし第四日の戰況

十六日戰鬪利あらず西軍は怒川左岸一帶の地を遺棄して退却せる西軍は小貝川を徒涉し更に西退して宇津間川左岸に陣地を布けり即ち宇都宮南方にあり騎兵團は石橋、壬生の市街を通過し赤津村に位置し續いて第十四、第一、第十三の各師團は宇都宮より栃木に至る線に據れり東軍は勝ちに乘じて松川將軍は一擧敵を擊滅せんとし十六日未明加波山麓の小貝川一帶の陣地より全線の躍進を命じ茲に於て敗戰陣形に陷れる仁田原西軍司令官は包圍に陷るを避ん爲め▲總退却に決し栃木方面の全軍に退却命令を下したり即ち茲に猛烈なる追擊戰は演ぜられ白井

◆一擧敵を擊破す可く鋭意活動を續け十七日黎明を期して躍進す可く寒冷たる銀月の下に露營の夢を結ぶや十七日拂曉猛雨沛然として至り山野咫尺を辨ぜず斯かる間にも兩軍の飛行機は密雲の間を縫ふて熾に爆彈投下を行ひ錦木山西面に位置し東軍第二師團の騎兵團は野砲、機關銃の擴援下に西軍第十四師團の◆散兵線に突入を試みたるを初めとして東軍の步兵は四里に亘る散兵線を躍出で一齊に突擊に移れり西軍又豫備隊を招致して此處を先途と防戰に努め兩軍の劍戟相觸れんとして午前七時戰鬪中止の命下り特別大演習は茲に終了を告げたり時に天尚晦暝にして凍雨頻りなり

◆大元帥陛下には大本營還幸後直ちに參加の高級武官を召し參謀總長事務代理閑院宮殿下をして高評を爲さしめ給へり（宇都宮電報）

◎凜たり王世子殿下

脛を沒する水田中に御奮戰

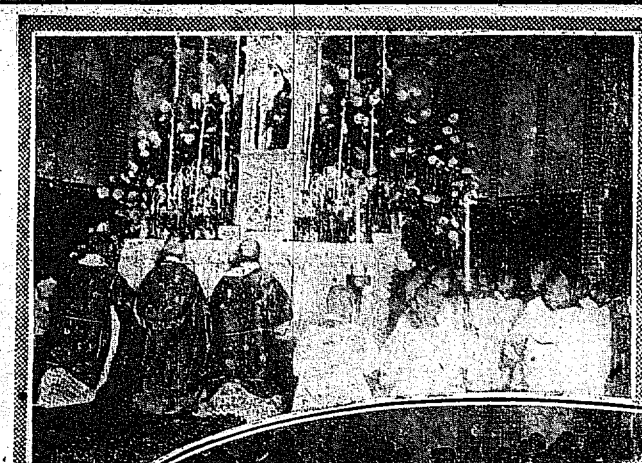
大演習開始以來兵士と共に各所に露營せられし第二聯隊第三大隊附李王世子殿下は十六日鬼怒川渡河の戰ひに參加されたるが連日の奮戰にて軍服は全部泥塗れとなりしも聊かの御疲勞の態なく元氣頗る旺盛にて敵軍攻擊の際には脛を沒する水田に活動せられ見る者をして其の凜然たる御行動に舌を卷かしめたり（栃木電報）

□國母陛下

華冑の婦女を戒め給ふ

皇后陛下には既記の如く十四日女子學習院へ行啓同院式記念式場に臨御遊ばされ左の優渥なる令旨を賜はりたり

茲に女子學習院の壯偉なる建築を開始し黌舍亦新築の工成るを欣ぶ惟ふに今次女學部を改めて特に一院を置かれたるも其敎育の旨趣に至りては一に皇妣の懿訓に遵由せむことを期す凡そ本院の學生はよく此意を體して專ら德性を磨き學業を練り益婦女の良能を玉成せむことを勗めよ今や世態漸く變遷して人心日に新しきを趁ひ奢侈相競ひて浮華自から喜ぶの風きなきにあらず女子たる者宜しく節を制し度を謹むの習ひ積みて其本分を愆ることなかるべし



◆參列者 右より露國副領事エフトレール夫人、エフトレール氏、佛副領事カロア氏、露總領事ルチ氏、英副領事ヘイドレ氏同夫人、カロア氏の後任米國領事パーゲホルツ氏夫人、パーゲホルツ氏米代理總領事

♣戰勝大祝賀祭

天には榮地には和やか、大戰遂に熄みて眞に和樂の日は來りぬ……歡喜に涙抑くミュッテル大主敎以下助祭神父は光輝搖々たる聖所に於て感謝の拜跪に祝賀祭を始めた。（十七日佛蘭西敎會にて）

◎陛下の御機嫌を奉伺

大森皇后大夫は皇后陛下の思召しを奉じ十七日午前七時東京發大本營に伺候し大元帥陛下の御機嫌を奉伺せり（栃木特電）

◎加茂眞淵翁 百五十年祭

十七日午前十時より皇典講究所に於て加茂眞淵翁の百五十年祭執行されたり（東京特電）

◎祝賀の歌テ・デ・オンは……

光榮の日の高塔

＝を搖り、三千の聯合國民交歡す

雨の十七日佛蘭西敎會にて戰勝祝賀祭執行さる

雨の十七日午後三時佛蘭西敎會の高塔から鳴り響く聖韻幸福の鐘と共に同敎會に於て京城駐在各國領事團員並は在住外人同敎會信徒等の戰勝大祝賀祭は行はれた、此日佛蘭西敎會の門前には生々として精彩を放つ各國旗が押し立てられ吾れもくと祝賀祭に遲れまじと集まり來る內外人約三千人何れも包み切れぬ戰勝の喜びを面に漲らせながら堂に入るや先づ李王職軍樂隊の嚠喨たる米國凱旋行進の曲に次いで祭主ミュッテル大主敎以下助祭ウヰリモー、クレンペテル兩氏及び神父八名の手により光輝搖々たる聖所に於て嚴かに祝賀祭は初められた軈て三百の龍山神學生は祭員と共に祝賀の歌テ・デ・オンを高唱の後軍樂隊は佛國の國歌を奏して午後三時四十分閉祭撤會したるが松永長官久水外事課長も各國領事に加はつて祝賀の意を表して居た

◎『現代に於ける印度』

盛んなりし本社主催通俗講演會

既報の如く十七日午後三時より本社主催にて日之出小學校に於ける

◇岡敎遼師と本社通俗講演會

日蓮宗大學教授岡敎遼師の『現代に於ける印度』と題する通俗講演會は折悪く雨となりたるも信者その他の聽衆非常に多く、社長の紹介に依つて壇に上りたる師は溫和な風采を黑き法衣に包み珠數をつまぐりつゝ世界地圖を示して熱辯を振ひ現代印度に於ける政治、敎育、宗敎その他餘暇を得て探檢したる佛跡に就て四年間實地の見聞を詳細にしかも縱橫無盡に說き去り說き來りて約二時間に涉る長講演を終り四時半無事閉會したり

◎密漁鮮人

慶尚南道蔚山郡大峴面[illegible]應蘆（二九）釜山府金周錫（三七）同金錢業（三九）の三名は芥川次郎なる者よりダイナマイト二百六本、雷管九十六、導火線十六尺を計百十一圓にて讓り受け去月十九日釜山牧ノ島附近に於て密漁を企てんとしたる事發覺し十一月七日同地官憲の手に逮捕されたり

◎淨土宗開敎院 鐘樓上棟式

＝十七日擧行＝

梵鐘は京都で鑄造中

十七日午後二時から本町三丁目淨土宗開敎院では朝鮮開敎二十周年記念として新築された鐘樓の上棟式を執行した、折柄雨にもかゝはらず善男善女の參詣多く、[illegible]の香らぐ本堂は其に爪も立たぬ有樣である、先づ唱歌『月影』が行難く合唱されると洒水、古城管長氏の報告に次いで▽木魚の音にむせるやうに念佛の聲が雨の窓に流れる岩井僧正の說敎は一同の隨喜の淚をこさしめ恭拜向で形の如く餅まきが初まる二間半四角の鐘樓は木の香も新しく雨に濡れて居る眞に莊嚴な式であつた開敎院は代々の總督に因緣厚く前の寺內總督も淨土宗の信者であつた處から今度の長谷川總督も同じく信者である處から目下京都の鑄造所で鑄造中の梵鐘は二尺七寸百八十貫の▽梵鐘の銘は總督が認むる筈だ鐘の銘は揮つた長文のものであるさうな明春花咲く候には出來上がつて來るので改めて撞初めを行ふ由であるが鐘の音はさぞかし廣く法を傳へて鳴り響く事であらう

◎國立の陶磁器學校

京都に設立か

今回奈良市にて開催されたる政友會近畿大會に於て京都市に經費百萬圓で國立陶磁器專門學校を設立すべく決議されたるが、由來京都市には明治三十六年創立されたる市立陶磁器試驗場あり和洋陶磁器を改良して各種陶磁器の試驗をなすと共に明治四十四年以來附屬陶磁器傳習所を附設して▲陶磁器業者の子弟及び一般志望者に對し陶磁器製作に關する簡易な學科を敎授しつゝあれども經費僅少にて從つて不完全を免れず將來之が整備を圖らんには勢ひ國立に引直すに如かずとなし京都市は大正六年度に於て農商務省に對し國立改造方請願したるに同省にては其の請願を容れ第四十帝國議會に▲國立陶磁器試驗場を提出するに內定したるも、當時農商務省は他に新事業多かりし爲め以て四十議會に提出を見合せて今日に至れり、內閣更迭後の農商務省が來る第四十一議會に國立案を提出するや否や判然せざるも今回▲國立を企圖し居れるは非常なる意氣込みを以て或はその實現を見るに至らんと觀測せらる、併して國立陶磁器學校の經費は百萬圓の如く『政友會近畿大會決議の實現は市として切望する所なるが附屬傳習所は正科三箇年、別科二箇年の修業年限、生徒の定員六十名、別科は▲小學校程度正科は中學校程度にして市內陶磁器業者の徒弟養成の爲め缺くべからざる機關なれば國立專門學校に改造後も現今の簡易敎科は存續する樣其細の際主務省に對し希望條件として請願する積りなり』と京都市理事者の談

□給仕入用

希望者は本人直接來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す

京城日報社編輯局

●株式現物賣買及株式應用簡易利殖事業▲收益多大▲本業は資業見に勇躍の基礎となるべき現代最善の業務▲希望者履歷書▲東京日本橋三代[illegible]▲太洋興業株式會社[illegible]券部

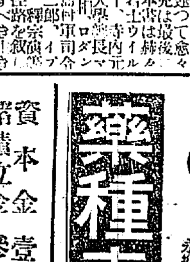
地方駐在 社員募集

◎行へば必ず成功する（忽ち十五版）

世界名士立志傳あり

一介の書生から苦學力行世界一の大統領となる
紙屋の小僧から奮勵努力一億圓の大船主となる
一腕を失つて奮戰した將校遂に總理大臣となる

生きた立志傳現代の青年は昔の英雄や豪傑の眞似をしても駄目だ、宜しく今の英雄即ち名士の言行を摸範として立志發奮すべきである、人間は七轉び八起が必要だ、一旦志を立てたならば艱難に逢つても挫けず愈々奮鬪するがよい、辛酸に會つて益々勇氣を加へ熱誠を增すやうな決心を持たなければならぬ本書は現代世界各方面の名士ウィルソン、夏目漱石、ゴルキー、寺內元帥、クレンスキー、山川大學總長、マッケンゼン元帥、山本權兵衛、ロダン、上原參謀總長、タフト、島村軍令部長、エヂソン、山下龜三郎、後藤男、モルガン、釋宗演其他五十餘名士の奮鬪經路を敘したる、實に青年の必讀すべき書本書は定價金一圓卅錢の處今回特價金一圓に割引す、希望者は今日より振替か爲替で注文あれ郵券二割增



◆立志傳發表記念の爲め五百名を限り特價金一圓（送料六錢合せて一圓六錢）を振替口座東京三八九九〇 東京神田西小川町二ノ五 柴田商會出版部

メリヤス各種品揃諸雜貨
御仕入の御方は——
京城南大門通り一丁目
瀨戶勝兵衞商店
電話七〇七 振替口座一四〇一

左記の處に移轉仕候
京城本町三丁目（總監部通り）
各色印刷インキ製造販賣
電話三〇五一番 振替一七六七
芹川商店

職業
遠近男女暇時其自宅にて簡易に出來るキレイな仕事年中無休取引確實設備完全取扱懇切販路多大有利確實當本業又は副業を得て富致を希望する方は速時申込あれ見本付說明書郵券拾五錢送
原紙貸與熟練日收貳圓位
全國市郡特約店募集
東京市本郷區本郷一丁目八番地大通 電話下谷三五五四番 振東四一四七七
三晃商會總本店

謹啓本社奉天支配人高原龜三氏今回本社支配人ヲ辭シ貿易商德昌洋行ヲ經營スル事ト相成候間此段及謹告候也
株式會社 平安攻玉園

（德喜洋行）
謹告拙者儀今般平安攻玉園支配人ヲ辭シ同時ニ德喜洋行ニ關スル權利義務一切ヲ株式會社平安攻玉園ニ讓渡シ大連ニ於テ輸出入貿易業ニ從事スル事ト相成候間倍舊ノ御引立アラン事ヲ奉願候
大連信濃町八十八號地
德昌洋行主 高原龜三

京城西小門町二二番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
（入院隨意）普通病室隔離病室の設備あり
電話八八五番

醫化學諸器械一式
Ⓚ
藥種賣藥卸商
仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參拾貳萬五千圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八。三六八一。三〇七 振替京城一六三四
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
南大門支店 電話二〇番 振替一七〇六番
本町支店 電話一五八二番 振替二二九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番
群山支店 電話六二番 振替五七四番
利川支店 電話五二番 振替三五二番
東大門支店 電話一八六三番 振替三八五〇番

優良銘酒

特約店
京城岡崎町
嶋屋本店販賣部
電話九〇三番二三三番

軍隊拂下大安賣
茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、冬羅紗服、ジャケツ、軍帽、靴下、アイボーシャツ袴下、雨合羽
右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町二丁目
川本衣服店
電話五六、振替口座一五六九

於福岡京都大阪各大學藥局醫藥用トシテ連續御採用
本品ハ一滴ノ混和物ナキ純良無比ノ生葡萄酒ナレバ補血强壯劑トシテ日常缺クベカラザル好飲料ナリ
發賣元 大阪西區[illegible] 到ル所藥店洋酒店ニアリ

母と子（二十六）

北島春石作　森田久畫

井戸端（一）

志保子はふつと目を覺した。直樹が隣家の植惣を訪ねて行きしなに、細目に一枚明けたまゝなる雨戸の隙から、弱々しい朝日が差込んでゐるので、

『あゝ、今朝は大相寢坊をしてしまつて……』と、急いで臥床から起出でんとしたが、後腦のあたりが抑れるやうな痛みを感じ、再び枕に顏を埋めた。

父親の留守を勿怪の幸ひ、細しき神の油斷を窺ひ、著替一枚もたずに家出した折は、恁うして二日も三日も所在を晦ます意ではなかつた。三箇所からも四箇所からも持込む縁談に、大分父親が乘氣になつたのみか、二人までも妙齡な娘をもつた義母のお増は、それがいづれも自分ばかりを目ざして來るのが不快で何彼と當り散らす。

『何うせ、三年あまりも針の蓆に辛抱したのだから』この先とても、その辛さが堪へられぬ筈はなけれど、さても女の操を完ふする事は、されない。とすれば、切めては唯の一目なりと我が子に逢つた上、死すとも活きてゐるともそれからの分別にしやうと、恁うした悲しい心を抱いて中洲の家を立出でたのだが、叔父なる森泉直樹の情に依つて、昨夜一晩なり二晩なりを、三年振で母と子が一緒に居られて、泣くも笑ふも心の儘にされた。

サテさうなると、隴を得て蜀を望む心が出でゝ、この儘で母子が同じ棲されるやうにと、再び叔父の袂に縋つた。それを快よく承諾した直樹は、今朝は特別に早く起出でゝ、植惣を訪ねて行つたのである。

斯くまで重ね〴〵に迷惑を持込んでゐるので、切めては女の手業で出來る炊事の一つもせねばならぬのに、主人より遲く目覺むるとは何事だらうと、志保子は自分の行爲に恥られた……さうは思ひながら、何うしても枕をあげ得ぬ惱ましさ。

今こゝで病ひ付きでもしたら一大事、齒へ石に噛りついても、うか〳〵寢込みはされないと心ばかりは焦躁つても甲斐なく、人の世の無情を喞つうき涙に、志保子の瘦頰にはほろ〳〵と涙が流れた。その冷たい涙の二雫三雫が、瞬きさだめぬ夜鳥を落かしたやう、三年振にて生母と添寢の夢まどらかな幸枝を揺り起した。

『お母さん……』とパッチリ眼をあいて

『何うかしたの。』

『いゝえ、別に。』

年齡もゆかぬ娘に苦勞をさせまじと、志保子は涙にぬれた横顏を背けて『何うもしませんよ。』

『でも、あのね、あの。』

繼母の虐待を受けつゝ育つた幸枝は、歳よりもませて怜ければ、逸早くも生母の涙を見てとつた。

『お母さんは泣いてるんですよ。あの屹度、わたしを岸上のお家へ歸すんでせう。』

『そ、そんな事が……この先き、……決してお前とは離れませんよ。』

『ぢや、なぜ泣いてるの。』

『だから、ちつとも泣きなどは……これはね、お前と逢へたうれし涙ですよ。』

『なら嬉しいけど……』と幸枝は生母に取縋つてしく〳〵泣き『ほんとに、ほんとにもう何處へも行つちやア厭!!!』

『あゝ死ぬまでも……いゝえ、死んでもお前とは離れない。』と、志保子も我が子を力強く抱きしめた『今までの事は悔んでも返らないけれど、今度はかうして逢へたのだもの萬一、お前と別れるやうな事があれば、この世に何一つの希望もなく、お母さんは死んでしまうから、お前もその意でね、いつまでも〳〵お母さんを忘れてくれでない。』

『ね、お母さんが死ぬならば、わたしも一緒に死んでよ。』

母子は緋と抱き合つたまゝ暫し惜まず泣に泣いた。（續く）

牛乳　衛生的新鮮ナル病院御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

電話賣買　京城明治町一丁目　萬年社　電話一八四四

奉天より　老禿生

◆對滿貿易 の前途を案ずるに戰時異状の昇騰を來したる銀價は平和と共に戰前の價格に復す……少くとも若干の崩落は免れざる……べくと存候、銀價の低落は即ち金價の昂騰を意味するものにして轉ては對支貿易の促進となりて現はれ來り可申と存候、然らば從來投資したる……戰時と平時とを選ばざる諸種の事業は母國の失の如き影響を蒙る事なく恰も

◆順風に帆 をあげたるが如き勢ひを以て發展進捗し來るや期して待つべくと存じ候、且つ大なる範圍に於て自給自足の要を認めたる母國資本家、世界大戰亂に依つて目覺め來れる事業家は必ずや平和來の聲と共に對支對滿事業に其の手を延はすべく否、世界經濟戰場の移動を覺悟し準備著々進捗しつゝある矢先なれば自から其手を延ばさしむべくさすれば對滿蒙の前途は愈々益々多事多端たるや吾曹の喋々を要せざる儀にして容

◆平和來の聲 に對し吾曹は前便に於て奉天の近き將來に於ける責任を縷述する處ありしが是れを以て直ちに吾曹をして悲觀論者と見るは甚しき早計なるべく存候、何となれば樂觀は得てして足許の大地を放れたがるものにて候へば此の最も重要なる時期を逸せず、益健實に、益鞏固に前途の開拓發展に資すべく全一般の反省を促したる迄の事にて有之候、思ふに滿洲の前途は平時に戰時に彌々益多事多望とこそ存候へ。

古本買受　京城明治町通り　野村書店　御報參上　電話三〇五〇

◆自給自足 といへる聲も只單に日本領土の域を超ゆる能はざるものとのみ見ば升は極めて淺見者流の見解に終り可申候、即ち母國の天與母國の產業を顧みば甚し思ひ半ばに過ぐるものあるは強ち吾曹のみに止まらざるべくと存候、利へ世界大戰亂勃發以來母國の產業は異狀の大發展を來したりとは雖も其は概ね戰時に於ける特殊の方面の著しく發展したるもの多く一度大亂終熄を告げ平和の曙光滿天下を照すに至らば其の前途や逆賭し難きものならずんばあらずと存候。

◆奉天を中心 とする滿蒙の形勢を見るに所謂未鑿の遺利富源の開拓に屬するもの比々悉く然りと云ふの現狀なれば是れが開拓發展は其の戰時たると平時たるとを問はざる種類に屬し而も母國に於ける自給自足は或ひは此の邊に立脚の兆礎を置けるにあらずやと肯定さるべきもの尠からず候更に又平和來と共に對支貿易の趨勢天の將來は確に樂觀を許さゞるものあるべくと存じ候

◆此意氣 此準備を有せる上の樂觀は眞の樂觀にして而して是れ許の大地を離れざる樂觀と稱し得べく經濟界の戰場を馳突して更に後れを取へしとも覺ゆ不申候と同時に奉天の前途は眞に洋々春の海の如くならずんばあらずと存じ候

金剛山の秋

仁川　佐治　寶劍

元山港出帆
一人酌む酒冷かな船路かな
漂へる折箱白し秋の浪
通川港
荷役濟めば早出帆や秋夕日
海暮れて甲板月上らず
山陰に添うて船路や星月夜
夜半長箭港着
船下りて夜寒を移る艀かな
金剛山館の旅籠今宵寢たり
客滅り淋しき秋の温泉宿哉
温泉里には珍らしくも洋館あり
山荒せ花野を前にホテル哉
案内者へ傭ひて出發す
草鞋穿きて秋晴々と出立哉
九龍淵途上
丸木橋架けて水なし秋の川
秋山や霧となりて石落下
鐵の梯子攀づ一徑や蔦紅葉
九龍淵
山霧の渡つて墜ちくる瀑布哉
萬物相に向ふ
劍に似て盡と立つ峯や秋晴る
仰ぎし山いつしか脚下にあり
群峯は眼下に落ちて秋爽し
金剛山
岩の穴くゞれば崖や秋の聲
汗滴りて盛夏の如し
山頂や一掬喫ぐ秋の水
新萬物相の嶺に立つ
天風のひやゝかに吹く肩毛哉
石など投下して興ず
石打つや霧噴いて怒る山の靈
隘路宿より迎ひの提灯來る
秋の日の沈めば暗き山路哉
夜半に颯々の風あり
山谷に落ち覺めつ秋の蚊帳
長箭港より再び船の人となる
物言はぬ乘合人や秋の船
元山著港在
家を發せし寄舍に在りて天の川（終）

▲轉居 爾後句稿は永登浦小生宛御送付ありたし（芳宙）

日報歌壇

おそ秋　大邱　百合

美しき子供一人を欲しくと云ふと云ひ出で、笑はれしかな
思ひあぐみ泣きあぐみては寂風の衛々しき時に愛でつゝ
出し秋想ひ出すに摘まれども遠く遡りてありてふことの
朝毎の冷たき車なつき進むわが汽車の身ぞ心ゆくもの

○　櫻井町　植田　なみ

この頰に夕陽はゆれば この胸になげき滿ち來てなみだぐむ秋
秋よあきよわが聞にある戀のごとくこしてコスモス咲きぬ

○　白星光

旅子卿のまくろき土ゆこほろぎの啼く朝にして茄子もぐわれは
垣ごしにさゆれて見ゆる秋櫻今朝け咲きたり朝日すうけつ
夜のしめり壁にこほりてつめたさに泣かんとすれば蟋蟀のなく

○　安州　飛田　蓬村

朝寒み帝子に何ひし小さき角齡ゆくけ秋ふかみかも
秋の暇はあかく照りつ時雨していなしげる花沽しつ
何故の垣間から覗きと名づけまし我が拒ぎし今日、行かぬ

◎横斷航路と鮮牛

日本海横斷航路を利用し去る五月以來同航路に依り北鮮より移出せる鮮牛は……る良好を以て迎へられ將來に於ては船腹の餘裕次第移出高を增大せんとする趨勢にあり十八日には追……

◎不正漁業五件

愛媛縣西宇和郡三崎村增田又松（五十）は十四日長崎沖にて爆發物にて捕獲……樣の犯罪にて引致されたるもの左の如し

▲濟水角治（五九）河谷彦太郎（四十）は……

課題及び募集規定

（下句付「風が鳴る」）十四日〆切　十五日發表

募集規定

▲用紙はつけがき又は同形の用紙一枚毎に雅號及び匿名の外に住所氏名明記の事 ▲一等は五十錢賞品券を呈す ▲……

給にあるやうな
心地よく美しい
生彩ある皮膚は
品質本位
花王石鹸の
御愛用に依つて育まれます

花王石鹸　香水　製造販賣元　東京馬喰町　長瀬商會
日本輸入　關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

健康と無病を欲する人々は
實行なさい!
美味芳香にして藥の氣味は勿論苦味なく最新の體育保全補血營養の强壯料
最高滋養　フェロール　を召す事
いかな病身な方も强壯となる
藥劑師　小西久兵衛
大阪市東區道修町二丁目
振替大阪九一九　電話本局五〇四　五七三
醫家適應　本劑は各病症に依り下記の專門藥四種あり……
適應
グアヤコールフエロール　呼吸器病、肺病
アルゼンフエロール　長病者及皮膚病者
沃度フエロール　發育不全黴毒腺病
フエロール　一般强壯補血
定價　フエロール　大壹圓八拾錢　小壹圓貳拾錢
グヤコール　大金貳圓五拾錢　小貳圓
沃度　アルゼン　大貳圓參拾錢　小壹圓五拾錢

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）
群山大阪行　×安東丸　十一月十七日　正午出
木浦大阪行　信濃川丸　十一月廿一日　正午出
（元山出帆）
清津行　安平丸　十一月廿三日　後十二時
釜山門司宇品神戸大阪行　宮島丸　十一月十七日　後九時出
（大連出帆）
上海、基隆行　湖北丸　十一月廿一日　前六時出
基隆丸　十二月四日　後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　北米行　毎月二回
南米行　一年四回　孟買行　毎月一回
濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
御注意　◎外國航路御乘船の際は五分引を以て連絡運賃切符發賣仕候◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道と連絡一切荷物取扱仕候◎乘客各位御遠慮なく御照會……
大阪商船株式會社仁川支店　電話二二二番　五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
仁川本町二丁目　群山旅館　電話四二番
仁川港町　吉田組　電話二二番

日本郵船仁川出帆

大連、天津行　相模丸　十一月十九日　正午出帆
高砂丸　十一月廿六日　正午出帆
大連、秦皇島行　酒田丸　十二月七日　正午出帆
仁川海岸町　堀回漕部　電話十番

朝鮮郵船出帆

大阪朝鮮間ノ荷客便ヲ計ル爲メ……各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候
▲敦賀行　清津發、城津、元山、經由
平安丸　十一月十七日　清津發
平壤丸　十一月十八日　元山發
▲浦汐行　清津經由
平安丸　十一月十九日　元山發
▲雄基行　關門發、釜山、各港經由×印ハ江原道各港寄港セズ
×京畿丸　十一月廿一日　釜山發
三浦丸　十一月廿七日　元山發
▲元山雄基線　元山起點各港經由雄基間往復
穩城丸　十一月廿三日　元山發
三浦丸　十一月二十日　元山發
▲大阪行　浦潮發、城津、元山、釜山、關門、神戶經由
平壤丸　十一月廿七日　元山發
▲關門行　雄基發、清津、城津、元山、各港經由×印ハ江原道各港寄港
×山陽丸　十一月廿二日　元山發
三浦丸　十一月廿五日　釜山發
▲金剛山遊覽便　元山發長箭石亭經由長箭行月六回但六月ヨリ十一月ノ間
▲鬱陵島行　釜山發浦項及各地經由
盈德丸　十一月十九日　釜山發
▲釜山浦項線　釜山發長生浦九龍浦浦項間往復毎日一回出帆
▲濟州島行　釜山發長承浦、麗水、巨文島經由
昌平丸　十一月二十日　釜山發
▲濟州島行　木浦發東廻ハ所安島、西廻ハ八島蝶子島經由
東廻　慶興丸　十一月廿六日　木浦發
西廻　公州丸　十一月十九日　木浦發
▲釜山麗水線　釜山、麗水間往復毎日一回出帆
▲木浦麗水線　釜山行麗水ニテ接續
順天丸　十一月十六日　木浦發
▲多島海行　木浦發多島海各島行
慶尚丸　十一月廿二日　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由
全州丸　十一月廿五日　仁川發
▲海州行　仁川發江華島海州龍媒島經由
仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行　仁川發各港經由
晉州丸　十一月廿五日　仁川發
▲大連、青島行　仁川發芝罘經由
江原丸　十二月二日　仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
本社　京城南大門通　電話一九五二　一三三
釜山支店　元山出張所　仁川海岸通　木浦代理店　京城荷客取扱所
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

◎伊藤公記念事業

伯爵兒玉秀雄氏談

朝鮮今日の發達を見るにつけ憶ひ出さるゝは故伊藤公の事共である　日韓併合は桂内閣時代に成り併合後今日迄の施設は大將寺内初代總督の手に成つたものであるが然も併合の基礎を作つたものは初代統監たる故伊藤公である、勿論公は明治時代に於ける大政治家だけあつて統監就任前も朝鮮の事には直接間接幾多の關係を持つて居られたが日鮮の關係に最後の解決を與ふる第一歩の段取を作られたのが言ふまでもなく公である、當時韓國統監としての公が如何に苦心慘憺朝鮮經營の任に當られたか又日鮮關係の疏導に如何に心血を灑がれたかは今日既に萬人周知の事實である、近く梨本宮娘君と御結婚遊ばさるゝ李王世子殿下を我國に御遊學を御勸め申し自ら御教育の任に當り、遂に王世子殿下をして今日の御成仁を見るに至らしめた如き、今から思へば如何に日鮮關係に對する公の理想の深遠なりしかが偲ばるゝのである。斯く晩年の心血を灑いで併合の基礎を作つた韓國統監は實に公の公生活に於ける最後の御奉公であつた、公は明治四十二年十月二十六日安重根の爲に未だ併合の實を見ずして哈爾賓驛頭悲壯な最後を遂げられたが、朝鮮今日の繁榮を計るが爲め晩年の心血を灑いで盡された公に對し、鮮人は反つて一發の彈丸に依つて之を酬いた如きは今から思ふも遺憾至極のことである。日韓併合が如何に兩國民を利するところ多きかは兩國今日の實情を觀れば何人も直ちに諒解の出來ることであるが就中朝鮮の今昔を比較すれば公の執られた對韓政策は目のあたり其德を偲ばるゝのである、斯くの如く公は朝鮮の將來の爲に計られ剰へ之が爲一部鮮人の誤解を受けて日鮮關係の犠牲となられたに拘らず、今日朝鮮に於て何等公を記念すべき事業のないのは予の私かに遺憾に堪へぬ次第である。予は明治三十八年十二月公が始めて統監府を組織さるゝ最初より、同府一課長の椅子に就き爾來朝鮮に在ること十數年の久しきに亘つたが恐らく公の知遇を受け採擇を被つた最後の一人であつたらうと思ふ。予は故伊藤公と以上のやうな關係もあり且つ朝鮮とは御承知の通り最も因縁の深い方であるから既に在鮮當時から自ら發起者となり公を記念すべき事業を朝鮮に遺したい希望であつたが、在鮮當時は公務殆ど寸閑なく遂に其宿志を果す機會を得なかつた、故に過般内閣更迭を機會に一切の公職を辭し純民人となつて此記念事業を始める心算であつたが、種々の關係で今度は純民人たることは出來なかつたが此事業には近々取掛る心算である、幸ひ明年は伊藤公逝かれて以來滿十年に成るのであるから斯ういふ計畫を遂行に着手するには又となない好機會であらうと思ふ、尚其體的の事に就ては愈々計畫熟し次第改めて發表し大方の贊成を待つて完成したいと思うて居る云々（文責在記者　東京支局）

事貴明

大正戊午晩秋為京城日報第四千號記念　紹春博邦題

式部次長公爵　伊藤博邦氏筆

文章日老熟

祝京城日報第四千號發刊　晨亭

樞密顧問官　子爵　伊東巳代治氏筆

至公無私　日新又新

詩南閔丙奭

李王職長官子爵　閔丙奭氏筆

懸賞當選川柳

東京　劍花坊選

記念（三等）　京城※※洞二ノ四　寺尾夢草

記念品だいじにするは當座だけ

咳（三等）　尼崎市下筑後町三十九　藤木松蔭

不眠症姑わざとらしい咳

同（三等）　京城吉野町一ノ六九　木村正德

謦咳に接して見れば只の人

同（二等）　忠南公州旭町　伊藤壽香

此の咳は何でもないと青い顔

同（二等）　龍山京町三丁目　羽間辰藏

咳拂ひ俄にペンの走る音

記念（一等）　加平　井原華遊城

金筋も鍬持つ四月三日也（朝鮮記念植樹）

軸　選者　劍花坊

老僧の咳に一座は水を打ち

惚れられた記念の痣を見せてゐる

選外秀逸　川柳（一）

咳

咳拂ひ夕顏の花開く頃　釜山　安原文之助

女優俯後ろで太い咳をする　京城　虎公

ハンカチに美くしい咳包んでる　平南太平驛　喜久女

可笑しげな咳花聟は旅行勝ち　京城　岸溪舟

咳一つしてから悔み言ふのなり　釜山　池田鶴洲

密會を二つに分ける咳ばらひ　龍山　岡本烏石

婚禮へ咳をしてゐる獨者　鎮南浦　大黑花鶏

立聞きをすました後の咳拂ひ　京城　石坂玉川

車夫の喉の後に太い咳　京城　山藤春郎

金口をくはへてオツな咳拂ひ　永登浦　吉原二葉

窓下の故なき咳に佇止む　京城　與一

餃が椅葉華の果の咳をする　光州　三木南山坊

咳拂ひ先づ方針を發表し　京城　窪田春階

生さぬ仲咳嚙み殺す場合あり　釜山　隆喜

謹聽が濟むとそこ此處咳拂ひ　東京　關昇

ヒステリー人の咳にも頭痛がし　京城　久野霞山

不可解の所は咳ですましとき　順安　太田弘

出ぬ咳を通る女へ二三べん　坡州　野村孺氣坊

咳一つ出ず判官の腹切場　釜山　谷政吉

逗子の濱ハンケチを振るたんび咳　龍山　丸山隆策

記念

古草履一つ夜逃の記念なり　平壌　一夢生

皆脱いで記念の指輪だけ殘し　京城　瓢七

無くもがな記念銅像やたら建ち　京城　柳下亭

記念碑の因由土地つ子知らぬ也　京城　巴東

附録四頁

祝四千號

營業品目

硫酸アンモニア肥料
完全肥料各種
過燐酸石灰
智利硝石及硫酸加里
大豆粕（散及板粕）
荏粕、胡麻粕
骨粉、米糠
其他種々

肥料
見本ハ御申越シ次第呈上仕候
現物並ニ先物モ御約定仕候
御注文品送達ハ最モ迅速ニ仕候

京城光熙門外
京城工業株式會社
電話長一三五六番
振替京城五四一四番

祝四千號

朝鮮煙草株式會社

◎理想的保險會社
蓬萊生命の現在と將來

蓬萊生命保險相互會社は古河、藤田、住友、澁澤の各男、林、川村、大木、柳原各伯、其他全國の富豪及び知名の士に依りて設立せられ、當初會社の社長たりしは政治界に其人ありと稱せられし故鶴原定吉氏なりき、鶴原氏の他界後同社の監査役たる關係を有し且鶴原氏と交渉淺からざりし筑前博多の太田清藏氏同社の取締役社長となり

▼鋭意社業の進展を努めし結果、其契約高に於ては敢て多額なりとは云ふ能はざれども其の内容の充實せる點に到りては眞に確固不拔一流會社に比し遜色なき迄に發達したるは洵に慶すべく獨り一萬有餘の保險契約者の幸福のみに非ざるなり

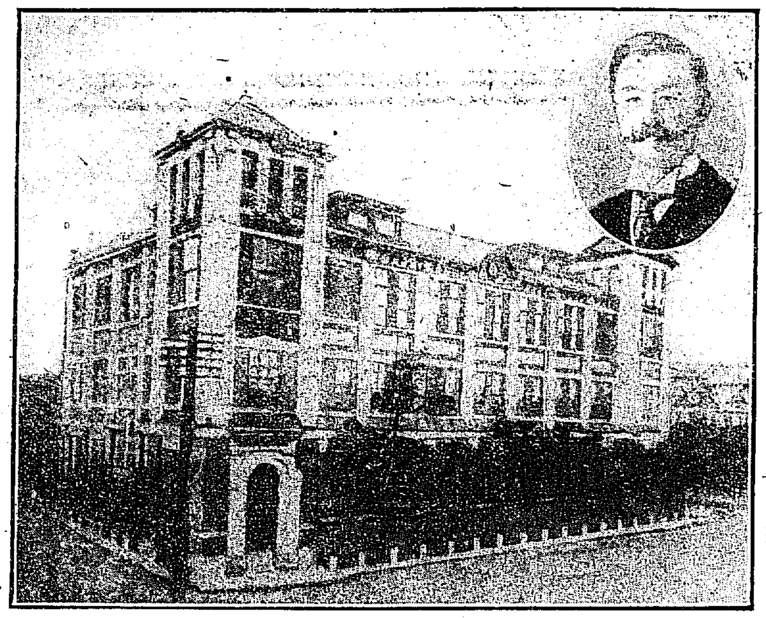
太田氏は福岡市に於ける實業界の領袖にして、曾て博多商業會議所の會頭たりし事あり、又現に福岡銀行頭取、十七銀行取締役として合名あり東京に於ては徴兵保險株式會社の專務取締役其他諸會社の重役として東西の實業界に活動せる當代稀に見るの精力家なり、太田氏今や蓬萊生命を主裁し專ら社運の振興に盡瘁す蓋し其意保險事業本來の

▼相互救濟たるを思ふに保險契約者の利益を增進せしめ兼ねて故鶴原氏の情誼に報いんが爲めなるのみ又他意あるに非ずと云ふ、而して氏の努力至らざるなく同社最近の決算に於ては財產上に多少の減損を加へたるにも拘はらず尚且相當の剩餘金を生じ社礎全く泰山の安きに置かれたるは現在の同社契約者は勿論進んで契約者たらんと欲する者に取りても欣快の至りとせざるべからず同社は更に理想的大會社たらん事を期し其目的に向て躍進しつゝあるも其

▼經營方針たるや一舉手一投足も苟にせず、内外專ら堅實を旨とし徒らに計數の高きを欲せず只に全職員一致協力以て社運の開拓に力めつゝあれば今後數年ならずして理想的保險大會社たるも敢て難きにあらざるなり、由來保險事業は相互組織を以て最も理想的となす事なれば、相互組織にして且

▼内容整備せる同社の如きは社會の歡迎に價すべく現に申込者陸續たる盛況なりと云ふ、同社現在の事務所は京橋區南鍋町なるも事務擴張と共に狹隘を告げたるが爲銀座通りなる煙草專賣局跡を買收し目下建築を急ぎ居れりと云へば近く銀座街頭一偉觀を添ふる事なるべし、同社は東京、大阪、名古屋、北陸、九州、朝鮮に支部を有し仙臺、松本、京都、廣島、旭川各地に出張所を置き全國に千有餘の代理店を委囑して懇切丁寧に其業務を取扱ひつゝありと云ふ、同社現在の役員及び重なる株主は左の如し

取締役社長 太田清藏、常務取締役 宮本幸五郎、取締役 高山長幸、[illegible] 文初喜、同 太田大次、男爵 古河虎之助、男爵 藤田平太郎、男爵 住友吉左衛門、伯爵 林博太郎、安川敬一郎、安川清三郎



東海生命保險相互會社(上)社長松方五郎君

◎極東印刷界の覇者
市田オフセット印刷株式會社

本邦に於る總百千の事業中著しく異彩を放ち旭日沖天的發展をなしつゝ有る市田オフセット印刷株式會社は大阪に總本店を置き東京、上海、臺灣に支店又は出張所を設け京城には出張員を駐在せしめ將來鮮滿に分工場又は支店設置の計畫をなし居れり、而して或は留學生を亞米利加に派遣し或は西洋人を技師に雇ひ常に世界的に印刷業の研鑽を怠らざる等最も進取的の經營により近來斯界に嶄然一頭地を拔き幾多先輩同業者を瞠若たらしめつゝ有り

活動の中心なる專務取締役市田幸四郎君は既に理想的印刷術たるオフセット印刷法を我邦へ輸入した始祖にして少壯有爲の模範的實業家なり又常務取締役として經營の大權を掌握し居るは極東印刷業界に驍名嘖々たる林理夫君あり又支那と鮮滿事情通の廣江澤次郎君新に重役に就任し多年の抱負を此方面より實現に着手し居れり之れが指導役兼監査役に聲望高き兵庫の千萬長者岸本信太郎君あり支配人には市田專務の同窓にして曾ては日本郵船會社上海支店にて敏腕を揮ひし齋藤庸三君あり其他幹部連孰れも錚々たる少壯の鋭將揃又職員職工皆結束鞏固なれば其活躍振が鮮かにして着々豫定の成果を取得しつゝあるも亦當然の歸結と謂ふべきなり

今事實に就き同社の公認的優秀なるオフセット印刷技術を紹介せんか先づ代表的美術印刷たる綺看板の重なる註文先を見よ

帝國鐵道院、南滿洲鐵道會社、日本郵船會社、東洋汽船會社、大阪商船會社、日本麥酒會社、キリン麥酒會社、帝國麥酒會社、上海英美煙公司、上海スタンダード石油會社、上海人壽保險公司外數十會社及び大商店更に公債社債及び株券類により同社の精巧美妙なる手腕と該博なる信用を見ん

公債 大阪市電氣鐵道公債、名古屋市教育公債 京都市公債、大分縣築港公債

社債及株券 株式會社大阪鐵工所、阪堺電氣軌道會社、播州鐵道會社、日本窒素肥料會社、宇治川電氣會社、京都電燈會社、博多電燈會社、大分水力電氣會社、神戸瓦斯會社、姫路水力電氣會社、廣島瓦斯會社、四國水力電氣會社、阪神電氣鐵道會社、九州電氣瓦斯會社、臺灣瓦斯會社、九州電氣軌道會社、三重セメント會社、岡山製紙會社、日露漁業會社、東洋捕鯨會社、日本毛織會社、藤川鑛業會社、山陽紡績會社、佐賀紡績會社、沖繩炭礦會社、大阪商船會社、日本海運會社、帝國麥酒會社、大正汽船會社、内田汽船會社、藤田銀行、

◎文明商業の先驅者
洋酒食料品店明治屋京城支店

日本文明商業の先驅者たる使命を以て明治十八年始めて横濱市に呱々の聲を擧げた洋酒、洋食料品店株式會社明治屋は今は東京、神戸、大阪、門司、京都、京城、名古屋、金澤、福岡の九大都會に宏壯なる支店を設け廣く東洋各地に取引店を有し日本に於ける否東洋に於ける此種商店の最大なるものにして聲名を

▼世界文明國の間に馳せて居る、而して其本店支店は其所在地に在つては常に其地商業の中心に振りの範をなし[illegible]又其營業の一大飾をなして居る其中京城支店の如きは實に銀座街頭の花となつて居る、京城[illegible]大正五年に[illegible]一升金一升[illegible]と言はれる本町[illegible]一丁目の[illegible]を買收して店舗を新築し[illegible]天の意氣[illegible]店務の刷新を圖つたのであるが其陣下に立ちたる店員諸士も亦其精神に感じ其職務に[illegible]して勇戰奮鬪其販賣の向上を示しつゝあるが同店の主義とする處は飽までも英國商業の

▼堅實強固 一に信用と誠意と精勵との三基礎の上に立つて明治屋の堅實な主義は終始一貫今日も將來も永劫毫しも變らぬのである、けれども此三主義を執るものは商店として當り前の事である故に明治屋では其三主義の外に商賣の確實と勉強とを以てして居る、顧客の便利と必要との前には出來る限りの働きをして其の希望を滿たして居る、如何やう多額の註文に應ずるも又如何やう少額の需要に應ずるも明治屋は決して甲乙の隔てはしない、等しく是れ大切なる顧客として敬意を以て扱うてゐるから恰も歐米一流の商店に於けるが如き快感を與へるのは流石明治屋であるとは

▼一般顧客の評であるが同店の主なる販賣品はキリンビール世界各國の洋酒洋食料品、飲食器、食料用器、煙草、菓子、各種料水等であるが何れも風味絶佳なるもの製作巧緻のもの内地製造品の確實著名のもの、外は決して劣らない之れが明治屋の大特色である、明治屋の商品は常に此主義によつて入荷されてゐるから顧客は安心である第一の特色としては商品[illegible]手であるが是は

▼體裁意匠 頗る優美高雅であつて且つ本支店、出張所とも共通であるから其中から何處でも又商品の取換へ得られる商品の[illegible]品でも[illegible]

▼顧客家庭の讀物たる[illegible]を[illegible]して同時に日月入荷の商品を廣告し[illegible]雜誌を編纂して居るから此雜誌を繙くものは如何なる僻陬の地に在つても[illegible]に世界の生活味に觸るゝのである更に筆を[illegible]は[illegible]の年中行事の一として又明治屋の名物として廣く世間の歡迎を受けつゝあるはクリスマスの前より年末一杯のクリスマスの裝飾である[illegible]が其意匠の斬新、優美、[illegible]商美しく店頭を飾つて其年を賑はすべく途つて居る[illegible]其店内は[illegible]現在の[illegible]を現出して盛んに[illegible]出をなしてゐる

れる便利がある、多くの進物は手もあるが明治屋の切手は日々の小活に直接の興味を與へる樂みがあるから多大の歡迎を受けてゐる殊に明治屋に於ては[illegible]に記つて居ると共に[illegible]好[illegible]を發行して廣く顧客の普及を目的として其内容は洋酒洋食料品並に其料理の趣味ある歴史、傳說、奇談、製法等を掲載して

明治屋京城支店

◎日本に始めて生れた新種保險法
◎愛國生命と朝鮮

愛國生命保險相互會社にありては保險契約者に最も便利にして利益多き新種保險を制定し豫て主務省に認可申請中なりしが十月十八日附を以て其認可を得た。

保險期間の途中より保險料の[illegible]又は短期に拂込ましむるのである

その**保險料は非常に低廉で中には其保險料總額の半分以下のものさへある**

同社の剩餘金は責任準備金(保險料積立金及び未經過保險料)に比例して當するの規定であるから新種保險は契約より多額の配當金を得られる、其配當金は種類の數に於て遙に[illegible]ることであるから相互間の文書の往復其他多くの手數及び費用を省略することを得べく**失効の心配もなく契約者に於ては誠に有利なる保險種類である**尚ほ既に契約を締結せる契約者も保險期間の中途に於て將來の保險料を一時又は任意の年數に短縮して拂込み得るの便法を設けたるを以て低廉なる保險料を以て高價の保險金と多額の利益配當金を受け得ることゝなりたるは同社を以て嚆矢とし他社に類例なき所得のものである因に同社は近來朝鮮に於て大に活躍し相當の成績を擧げて居ると云ふ

愛國生命は明治三十年の創立にかゝり古い歴史と統計とを有し死亡保險生存保險を合して五千四百二十有七萬圓に達した、同社の保險種類は終身(普通終身、有期拂込、終身拂)依つて何時でも保險金を被保險者の死亡に拂ふ、養老保險(養老、短期)は被保險者が四十五歳乃至六十五歳受取の内豫め一定した年齡に達した時は拂ひ、利益配當[illegible]保險者の死亡又は滿期の際に保險金を拂ふべき保險の外に保險金以上の資金を確定[illegible]資金との二種がある、同社現在の準備金は四萬二千圓積立金(任意積立金)一千九十七萬圓利益配當準備金四十六萬圓其他で基礎は益々強固となり朝鮮方面へも大いに擴張を圖つて居る

祝四千號

大連市山縣通 鈴木商店 大連出張所

大連市寺兒溝 鈴木油房

安東材木商組合(いろは順)

合名會社 石崎商店
濱谷薫藏
橋下材木店
布袋商會
成申洋行 安東縣出張所
東洋燐寸株式會社 安東縣出張所
東亞木材株式會社
岡田齋幸
鴨綠江製材無限公司
奥村組出張所
淵來材木店
川崎材木店
金指寅吉
唐津材木店
吉井材木店
大六製材所
大二商會安東支店
合資會社 南滿洲製材公司
村上商店
村木洋行木材部
浦元材木店
山形組
山口組
株式會社 山下製材所
小林材木店 安東縣出張所
近藤正敬
五通材木店
荒川洋行
荒川商會
合名會社 安東木摺製材所
安東挽材合資會社
安東木材合資會社
採公棧
三合公司 安東縣出張所
三有洋行
北澤材木店
三浦材木店
三井物產株式會社 安東縣出張所
宮下木材株式會社 安東縣出張所
篠原三次
守永晉松
木材商會出張所
鈴木惣吉
合名會社鈴木商店 安東縣出張所

祝四千號
京城西小門町 人力車帳場 一進組 電話二七七三番

祝四千號
朝鮮銀行平壤支店
株式會社 朝鮮殖產銀行平壤支店
株式會社 東洋拓殖會社平壤出張所
株式會社 百三十銀行平壤支店
株式會社 漢城銀行平壤支店

祝四千號
東洋拓殖株式會社 奉天支店 電話長一六五七 振替大連一九六八番 電信略號ホウテントタク
東洋拓殖株式會社 大連支店 電話長一三五五 振替大連一九七八番 電信略號タイレントタク

祝四千號
無煙炭販賣
木炭代用特種煉炭 廉價販賣
朝鮮無煙炭鑛株式會社 江西支店

懸賞寫眞當選發表

一等　晩秋　京城大平町　秋山生

懸賞小説當選發表（二等）

蛇樓

京城本町大和軒方　篠崎潮二

昨夜」Aに頼むで古本屋から購つた『爭ひの上』あれを開いた。その時私は思はずサッと躍りあがつた。こいふのは、本の扉に此書を木村非八の妻に贈ると刷られたのを見たから——非八こいへば！前にキュビズムの非である本を讀はしてゐる。其時もかなり驚かされたが、今日ほど酷くは無かつた私の胸の中にはある追憶が擡頭して來た。

あの非八！記憶の非八。繪の好きな非八、私はごうしても彼れのやうに信じられてしまつた。

非八を知つてゐるのは十一の少年の頃であつた。牛込の肴町の交番の前に『いろは』と云ふ牛肉屋があつた。三階の建物で此區では一つの名物になつてゐた。其が非八の家であつた。非八は物靜かな子であつた。その白い額にかぶさる毛髪は薄く縮れてゐた。教室ではいつも帳面に馬や羊の繪を描いてゐた。

或る日、私は正公こいふ四つ年上な花山中將の子と大喧嘩した。何にしろ力と辯の上で私は汚れた机の下にギウ／＼押へつけられた私と鈴木の松は誰よりも強情だつた。口惜くなると相手が大人であらうと、何の見境もなく武者振り付いた。その時も涙をボロ／＼こぼして相手の顔を火のやうな眼で睨みつけてゐたが、身體を顫はすと非八が選繪を描いてゐる机の上の硯を取るといきなり投げつけた。赤間ヶ石の硯は音もなく正公の白い毛の脱けた額に喰ひついた。血はサッと流れる。正公は飛びあがると床に仆れた。

級中には大混亂が渦巻いた。鈴木の松や海軍中尉を兄に持つてゐると威張つてゐる岩崎の男などは皆私に加勢して呉れた。

昂奮した私は夢中に騷いでゐると背後から引つ張る者がある。運動場の欅の木の下でふと氣がつくとそれは非八であつた。

『また叱られるよ、佐官の醜貌を呼びに行つたから』内氣な非八は喧嘩をしたのが自分でゞもあるやうに非常に正公を恐れてゐた。

また此んな事もあつた。

學校に展覽會が開かれた。其の頃の私は普通な少年雜誌には見向もしなかつた。春浪の海底軍艦だの砲彈の中に這入つて月世界を旅行するといふやうな冒險譚の類を漁つては讀むだ。そして談話會があると私は昂奮した口調でそれ等の話をして切りに得意がつた。

其處で級から選抜されたのは私と非八と勝利の三人であつた。勝利は石川といふ家に貰はれて來た猿のやうな顔をした瘦た少年で自分の名を『カットシ』と呼ばれるのみ怯れたやうに嫌がつて先生にまで『ショウリ』と呼ばしてゐた。丁度日露戰爭が終つた頃で吾等は露西亞のショウリ』と言ては嘲笑した。勝利は石を掴んで猿のやうな顔を眞赤の猿のやうに眞赤にして皆を追ひまはした。

非八と勝利はにはかに繪を稽古し始めた。私は高橋といふ老人の先生から品川の海が遠くニコライの圓屋根の向ふに激青く見ゆる談話室で談話の練習をした。みんな一生懸命の準備のために毎日、二時間位殘された。

いよ／＼當日になつて、順番が時計の針のやうにめぐつて來た。一人は多勢の父兄や生徒の頭を見渡せる高い壇に登つた。拍手が身をふるはすやうに鳴つた。その拍手でも一番眼についたのは松と芳とそれから私を可愛がつて賴んをして呉れるお清さんのそれだけであつた。

私は出來るだけの聲で話をした。後で聞くと、まるで泣き叫むであらうだと松が言つた。

話は猿蟹合戰であつた。話が進むにつれて背後のボールドに非八は蟹、勝利は猿の繪を描いた。勝利の猿の顔を描きだすとほかに笑ひ聲がした。みんな私の級の者達であつた。

三人の仕事は非常に皆を喜ばした區長さんから有難い講辭まで戴いた。

歸りに非八と私は赤城神社の銀杏の實を取りに行つた。學校で貰つた船橋屋の鹿の子餅を大蛇のやうな銀杏の根に坐つて食べた。鴨の水搔のやうな葉は夕陽に輝いて時々黄い布のやうに散つた。

非八は切りに首を傾けてゐた。が突然『あたいは畫師になる』と呟いた。私はそれを聞くと、自分も浪の様な小説家になると言つた。二人は思はず晴やかな笑を交はした。

赤蜻蛉の飛ぶ頃赤城様の神樂太鼓の音はふくらんだ護謨風船のやうに四つの窓から教室へ流れ入る。遊び時間が來るとみんなは彈かれたやうに机を離れると窓邊に重なり合つて神樂を見た。

素盞鳴尊が八頭の大蛇を退治する處などがあつた。私は何氣なく『三崎座の文覺上人の方が面白い』と言ふと非八は『あたいも行つたよホラ瀧の處で多勢の人を殺したね』と密つと囁いた。

そんなやうに非八と私は特殊の共鳴を持つてゐた。けれども白銀町に電車が通るといふのであの三階の『いろは』は壞される事になつた移轉の時に非八は私を連れて傳馬町の『いろは』に行つた。

二人は一日良く遊むだ。お互の心中には言ひしれぬ淋しさがあつた青い瓦斯の火で煮た牛肉を食てゐる時。

『もう赤城學校に行かれないけれども、遊びに來てね。僕も久世山の方に行くからね』非八は傳馬町の學校に行く事になつた。

私の綺麗な女中は『まあ仲が善いのね』と二人の頭を撫でるとお櫃を抱へて階下に降りた。

日暮近くになつた。私は歸りかけると白い顔を曇らせた非八は名殘惜さうに市ヶ谷の土手まで送つて呉れた。

二人は甲武線の柵近を夕風に冷めた土手から見下して、電車のガタ／＼走るのを眺めた。もうあたりは暗くなつて葉の薄れ、老松の枝の間には、星が青く瞬き初めた。

『此處に名縫があるんだよ』

『あの松だ!!!』

二人の背にはゾッと寒氣が走つた薄明りのなかに朦朧と見ゆる松の黑い影を見据ゑて二人は身をすりよせてゐたが、ワッと脅かしに合つたやうに。二人は手を握り合うて濠端の柳の下まで夢中に走つた。

あの非八!!!記憶の非八、繪の好きな非八。—あゝ—と私は懷しさと悲しさの紛糾した涙を熱くにじませた。

非八はもう立派に獨り立してゐるあれにはもう妻もゐる。矢張り内氣だ、それとも奔放な！そんな事はごうでも宜いが良い妻を貰つたのだ。必ず可愛い子も居るのであらう。また彼の畫も非常に評判が宜い。

それに引き較べて私は悲慘な放浪に放浪を重ねて豚のやふに轉々して蟲のやうに蠢々してゐる。非八御前は偉大だ。此の滑稽な男を嘲笑して呉れ。

『爭ひの上にあれ』…それは試むにあまりに辛かつた。

非八の到ゐ！自身の未來！若しあの漂泊さへなかつたなら僕へ非八に及ばずとも、ある一階段は確實に踏み得られたであらう。廣漠な世の海!!!私は飽くまでも忠實に、元氣よく舵樓に立つて進路を誤る事は無かつた。然し非八の船が燦然たる旭光を浴びて本部に海の波を辷る時には!!!私の船は灰白な雲霧に脅かされ、山なす怒濤に飜弄されて、喘ぎ憾むでゐた吾等の距離は一であり、早きものは遲れし者—吾等は是非躍進せねばならない。なほ行手に横在する大岩礁!!!猛烈な疾風!!!

汝は身を舵樓に立たねばならぬ。眼を睜れる。眼界に岩礁に!!!

吼ゆよ世の風!!!

私は思はず唇を噛みしめた。眩むやうな氣で兆しに身を伏せた。暗くすると心は澄みし、黎明のやうに微光に明るく晴れて來た。

私は肩をやり上げ清新な外氣を胸一杯に呼吸するとペンを握つた。眦目をふりす直進よ、ペンの描くは嘲笑と蔑く行進曲のやうであつた。

一字一句—此れは進行の道程である。私は胸に希望が非八の名を呼し『爭ひの上に行くを待て』と一心に創作に耽つた。

疲れた眼をあげると鐵形の障子の硝子から澄むだ秋の空が狂女の瞳のやうに冷たく光つてゐた。

選外秀逸　川柳

京城　八坂多美子　兄弟は記念わけから仲たがひ

平南太平驛　市月　朝鮮を土産に死んで十年目

京城　樂海　記念樹を見て腰をのす白い髯

吉原三葉　玉垣の石に名主の名が殘り

平壌　不孤生　遺族席記念の遺子がいぢらしい

龍山　十の字　記念品忘れた頃に出來たり

京城　池田鶴洲　記念分け目早しい物は伯父がとり

海州　よし坊　二の腕の意氣な記念が邪魔になり

平山　三龍水　父親が記念に殘す書用書

京城　三村秋月　二三度は記念の指輪質に入れ

密陽　舟風生　送別に貰つた記念酒にする

順川　ニコ／＼坊　指輪にもました記念の岩田帶

京城　久野一瓢　人知れず記念の寫眞見ては泣き

京城　素女　壓兵になつた記念の贈賞り

仁川　鈴木篤平　記念にと貰たものが仇となり

海州　よし坊　記念植樹八道の山は禿かくし

四季と甲子（古反古）

春、雨甲子、飛船入市、平地可通舟楫

夏、雨甲子、赤地千里、（赤尺古字通用言旱水阻）【步若千里之行也】

秋、雨甲子、禾頭生耳」

冬、雨甲子、牛羊凍死」殘冬雪千里

祝四千號

祝四千號

人參エキスはマルコマに限る

登錄商標

京城明治町　小笠原大藥房

電話一九四八番　振替京城三七五六番

祝四千號

龍山漢江通一一

龍山金融倉庫株式會社

電話一四八番

鑛業

京城南米倉町

蛇目鑛業所

同　分析所

所主　蛇目萬次郎

電話長九三〇番・三八〇八番

祝四千號

朝鮮總督府平壤鑛業所製

無煙煉炭特約販賣所

各種石炭商　セメント商

京城古市町　苫米地商店

電話九四一番・三一〇八番

祝四千號

京城酒商組合

（いろは順）

一鶴發賣元　京城永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番　振替京城六二〇番

富の露菊世界發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話一〇三九番　振替京城四九三番

清酒、金露、長春釀造發賣元　京城南大門通二丁目　大塚京城支店　電話四〇一番　振替京城五七〇番

正宗、菊白鶴、二羽鶴、大澤、大日本麥酒株式會社特約店　京城本町三丁目　田中支店　電話七六四番

櫻正宗、櫻魂發賣元　京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話八四九番・一四五四番　振替京城七五番

菊正宗、白鶴、サッポロ麥酒特約店　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替京城四二五番

金釜銀釜大關發賣元　京城黄金町一丁目　三巴京城支店　電話三八〇番　七五三番

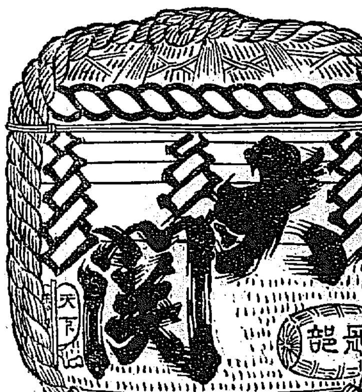
清酒大和心、澤之鶴、都菊、金露、麥酒特約店　京城本町一丁目　佐藤牧本店　電話一九番・二四八番　振替京城二九番

百合正宗發賣元　京城大平通り二丁目　百合正宗京城支店　電話一五一五番

清力正宗發賣元　京城本町二丁目　清力京城支店　電話長六七九番　振替京城一五五六番

有薰發賣元　京城黄金町二丁目　齊藤京城支店　電話七一番　振替京城三七一番

祝四千號



滿鮮一手發賣元

京城黄金町一丁目

三巴京城支店

淺松太郎

電話三八〇番　七五三番

4000

龍山金物商組合

龍山京町 中桐鑄工場 電話 番

多田商會 京城出張所 京城吉野町一丁目 電話二四八八番

雜木各種板類 製材販賣 並ニ家具木取 本明雜木店 京城黄金町一丁目 電話長三一七五番 振替京城五一七三二番 電信略號(ホ又ハ(ホン))

京城本町二丁目 天ぷら 御料理 仕出し 松金 電話六八六番

京城明治町二丁目 傘 提灯商 大島良吉 電話一六三五番 振替口座一一七七番

歐米雜貨 洋家具裝飾品 銃砲火藥發許品 各官衙御用達 藤木利右衛門 京城南大門通り三丁目 電話五一五、八六〇三番 振替口座朝鮮二二四番

各色印刷インキ 製造販賣 芹川商店 京城本町三丁目 電話三〇五一番 振替一一七六七番

齒科器械 材料販賣 朝鮮日新社 京城本町四ノ一 電話一七五八、二三三番 振替京城四七四八番

各地物產委託 並米穀移出 駿府商會 京城南大門通四丁目 電話長二一六一番

京城本町一丁目 砂糖商 澁谷商店 電話七七一番

京城黄金町一丁目 岩田寫眞館 電話五三番

京城南大門通五丁目 金物商 高岡洋行 電話一九六一番

京城黄金町二丁目 長尾金寶堂 電話二四〇八番

米穀賣 請米業 佐野屋 京城本町四丁目 電話一四九一番

今村醫院 京城若草町大通り 電話一八三一番

龍山漢江通一五 渡邊信托社 電話五〇番

京城明治町一丁目 石炭商 村山商行 電話一〇五一番

德田商會 和洋建築材料 德田高二 京城永樂町五丁目 電話三三二番

御名刺 太平堂印刷所 京城本町二ノ三九 電話七二二番

忠淸北道淸州 米穀商 服部房吉

忠淸北道淸州本町 岡田自轉車店 電話三八番

忠淸北道淸州 東洋拓殖會社出張所 淸州常時出張員 沼田虎治郎

忠淸北道淸州 内科 小兒科 井手醫院 電話三四番

忠淸北道淸州本町 開業 青木藥局 電話四五番 振替京城五七三一番

京城旭町一丁目 活版石版和洋帳簿製造 中嶋印刷所 中嶋龜次郎 電話二千百八番 振替京城二百二番

忠淸北道淸州 材木商 川島商店 電話架設中

忠淸北道淸州本町 醬油味噌釀造業 小木曾酒店 電話四六番

裡里信託社 出張所 全州、群山 井邑、舒川

忠淸北道淸州本町 江上商會 電話一四番

忠淸北道淸州本町 米穀商 植野精米所 電話五九番

全州 銀杏屋旅館 電話一〇一番 菊乃屋旅館 電話二六番 平野屋旅館 電話六四番

内外果實青物卸專業 委託問屋 松原商店 京城南大門通三丁目 電略(コ)電話一八三番 振替口座京城一一八三番

内外教育玩具小間物 織田東洋館 電話一六九八番

和洋紙文具小間物 並ニ帳簿製本印刷一切 諸官衙御用 增田作利商店 京城本町二丁目 電話四五一番 振替京城二二五五番

各種原木雜木製材 建具類一切販賣 兆昌材木店 主任 鄭以初 京城黄金町二丁目 電話二八五一番

パンビスケット、ドロップス類製造卸小賣 パンの元祖 京城明治町二丁目 木村屋京城支店 電話八七〇番

印材並に名刺紙 販賣及印章彫刻 京城本町一丁目 千代田號印房 電話九八七番

京城南大門通五丁目 諸器械類並附屬品 喞筒各種鑄物式販賣部 東生商店 電話一六一九番

京城蓬萊町二丁目 製作部 東生鐵工所 電話一四九一番

西洋酒 京城本町一(電話一九八・四八) 佐藤牧商店 龍山陸軍構内(電話五二九) 佐藤牧用達部 龍山漢江通り(電話四二九) 佐藤牧支店

山城宇治產地出張販賣 並に茶器一式卸 京城明治町 宇治屋茶店 長電話四二一番

忠南公州 會席 御料理 湖月 電話一二三番

祝四千號 朝鮮製綿株式會社 京城府青葉町 電話長一六五番

祝四千號 全北全州 全北輕便鐵道株式會社 電話一四八番

祝四千號 東蠶社 京城府漢江通

祝四千號 西洋酒西洋食料品及諸雜貨直輸入商 西洋料理業 京城南大門通三丁目 青木堂支店 電話四一〇、四一一、四一二 振替口座京城三五七

營業場所 本店 東京市麴町區中六番町 支店 京城鍾路パゴタ公園内 支店 京城南大門通り三丁目カフェーライオン 出張所 京城長谷川町朝鮮銀行集會所 出張所 京城旭町朝鮮總督府倶樂部 出張所 東京市麴町區陸軍省參謀本部内 出張所 浦鹽派遣軍司令部附指定酒保

京城本町三丁目 壽座 姬野龜吉 電話五七八番

京城南大門驛前 牛乳菓子問屋 大福麥製造 池田商店 電話七五九番

紙函製造 洋紙販賣 鼎商會 京城長谷川町 電話九一八番

忠南公州 會席 御料理 梅の家 電話五七番

全州分監囚徒作業請負業 穀物商、紙、叺、繩、莚 バナマ製造販賣 宮永友枝 長電話一六二番

殖產銀行全州支店 岩崎虎次郎

全州郵便電信局 近藤新一郎

東亞全州分工場 佐藤憲三郎

全州 完天合資會社

忠南公州本町 河野旅館 電話五〇番

忠南公州 土木建築請負業 佐藤市五郎 電話二五番

木材及左官材料商 杉岡延輔 忠南公州本町 電話三五番

和洋紙文具諸印刷商 藤澤日豊活版所 忠南公州旭町 電話五二番

京城長谷川町 鐵泉冷温 備前屋旅館 電話一四二番

京城本町一丁目 製菓博士 本城屋 電話三四三番

京城明治町二丁目(支那領事館前) 鑛業 田部分析所 電話二七七一番

京城太平通二丁目 鑛業 松永分析所 電話長一八一三番

大連ソーライト會社製品特約販賣 日本窯業會社製品特約販賣 中アスファルト會社代理店 淺野スレート特約販賣 建築材料商 石田商店 京城黄金町東拓前 電話二六一番

瓦斯電氣工業用諸機械材料電線 電燈器具美術電燈裝飾器具輸入販賣工事請負 京城長谷川町(朝鮮銀行横) ヒオキ商會 長電話二三二番

忠南公州本町 常盤旅館 電話三〇番

全州面長 學校組合管理者 柴田秉克

全州郡廳 藤谷作次郎 岡崎正進 菊屋

中外電氣株式會社 全州支社

京城黄金町一丁目 自轉車及附屬品 高居瀧三郎商店 長電話二九六一番 振替口座京城四三二八番

忠淸南道警務部長 神田長平

朝鮮京城南大門通二丁目一二四 織物、絹綿、紗、羅及附屬品商 合資會社 睦商會 長電話三九五番 電話三一三九番 振替貯金口座京城二三三番 發電信略號(ムツ)

大連市大山通二丁目二十五番地 睦商會大連出張所 長電話九八番 振替口座大連一八八六番 發電略號(ムツ) 哈爾賓プリスタニ局モストワヤ街 睦商會 哈爾賓出張所

辻本嘉三郎

原式精米機並製繩機發賣 石原商會 京城府漢江通一六 電話龍山七二六 精米機見本當商會に据附運轉せり 購求望の方は一見を請ふ

營業課目 陸、舶用汽機、汽罐、石油瓦斯發動機、精米、電氣、高級工具機械、水道瓦斯、電車、鐵骨類及鑄造、切歯 其他一般機械製作修理 京城鐵工所 京城蓬萊町二丁目 所主 二宮常一 電話一二三番

洋鐵商 朝鮮南大門通り四丁目 (ト)德本支店 電話長二四〇番 長七一八番 電略(ト)又ハ(トク)

忠南公州山城町 米穀商 岸田勝三郎 電話四三番

忠南公州常盤町 土木建築請負業 山南庄次郎

忠南公州 金甲淳自動車部 電話六四番

忠淸北道淸州本町 御旅館 清州館 電話六一番

忠淸北道淸州本町 御旅館 明治館 電話二九番

京城南大門東市場 海陸物產東西青物 委託問屋 紀州阿波本みかん每日新著 藤岡商店 電話二一六四番 振替京城二〇八八番 電信略號(フ又ハ(フジ))

京城本町一丁目 美術貴金屬品製作 高木勇 電話九九一番 振替九〇一番

京城本町二丁目 貿易 石炭商 林田金次郎 電話六五番

京城南大門通三丁目 日用雜貨商 鍋島商店 電話一〇三八番

京城競賣株式會社